

平成 28 年度 教育委員会点検・評価報告書
【平成 27 年度事業】

平成 29 年 1 月
西予市教育委員会

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| I 平成 27 年度（26 年度事業）学識経験者の意見への対応状況 | 2 |
| II 西予市教育振興基本計画（平成 26 年 3 月策定）について | 7 |
| III 西予市教育委員会の点検・評価について | 9 |
| IV 点検・評価結果 | |
| IV-1 教育委員会の活動状況 | 11 |
| 1 委員選任状況 | 11 |
| 2 会議開催状況 | 11 |
| 3 委員会議以外の活動状況 | 15 |
| 4 主な活動実績一覧 | 15 |
| IV-2 施策別の点検・評価結果 | 19 |
| 1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧 | 19 |
| 2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果 | 21 |
| 重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進 | |
| (1) 社会総がかりで取り組む教育の推進 | 21 |
| (2) 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進 | 23 |
| (3) 特別支援教育、人権・同和教育の推進 | 28 |
| (4) 安全・安心な学校づくりの推進 | 30 |
| (5) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化 | 31 |
| (6) 幼稚園教育の充実 | 32 |
| (7) よりよい教育環境づくりの実現 | 33 |
| 重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進 | |
| (1) 生涯学習の推進 | 38 |
| (2) 公民館活動の推進 | 39 |
| (3) 心豊かでたくましい青少年の育成 | 45 |
| (4) 人権・同和教育の推進 | 47 |
| (5) 図書館活動の充実 | 49 |
| 重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興 | |
| (1) 文化財の保護と活用 | 51 |
| (2) 文化の振興 | 55 |
| (3) 文化活動の環境と基盤の整備 | 62 |
| (4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進 | 65 |
| 重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進 | |
| (1) スポーツの振興 | 68 |
| (2) えひめ国体の推進 | 72 |
| V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性 | 75 |
| VI 参考資料 | |
| 平成 27 年度西予市一般会計歳出決算における教育予算の実施状況 | 84 |

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）（以下「法律」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。

また、いじめ問題を契機とした教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の低さなどの課題も指摘されたことから、国においては教育委員会の存続を含めた制度の見直しの議論がなされました。そして、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るための教育委員会制度改革が法律の一部改正により、平成 27 年 4 月から施行されました。

一方、平成 18 年に改正された教育基本法では、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、わが国の伝統文化を基礎として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされており、これを踏まえた教育施策の展開も求められております。これを受けて、西予市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、学校教育及び社会教育の一層の充実を図るため、市総合計画と整合性を図りながら、今後目指すべき教育の基本的方向性や重点的に取り組むべき教育施策を明らかにした「西予市教育振興基本計画」を平成 26 年 3 月に策定しました。その後、教育委員会では、この基本計画の一部改訂を平成 28 年 3 月に行っておりますが、今回の事務の管理及び執行の状況の点検・評価にあたっては、平成 27 年度の教育委員会事業を対象としていますので、改訂前の基本計画の項目に合わせて行っています。

今後のさらなる効果的な教育行政の推進に資するために、学識経験者のご意見等をいただきながら、教育委員会が点検・評価した結果を報告書としてまとめましたので、ご覧いただきご意見、ご要望をお寄せいただくことで、よりよい教育の実現をめざして、取り組みを進めてまいります。

平成 29 年 1 月

西予市教育委員会

I 平成 27 年度（26 年度事業）学識経験者の意見への対応状況

平成 27 年度（26 年度事業）の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価における学識経験者からいただいた意見等について、平成 27 年度の西予市教育委員会の対応状況は以下のとおりです。

| 評価・意見（平成 26 年度） | 対応状況 （平成 27 年度の取組） |
|--|--|
| 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進 | |
| (1) 社会総がかりで取り組む教育の推進 | 評価結果<概ね順調> |
| ①国際化が進む時代の中で、語学の習得や異文化・習慣に肌で触れることは子どもたちの成長に貴重な体験である。事業が継続的に実施できていることは評価できる。参加していない子どもたちへの波及効果が少ないと感じる。今後は、帰国後の研修報告の取組など工夫して事業の効果が波及するように取り組んでいただきたい。（生徒国際交流事業） | ①平成 28 年度に来市する交流校（ニュージーランド：タラデルハイスクール）の受け入れ準備に取り組んだ。内容は、西予市内各中学校での体験入学やホームステイを行うものとして、多くの生徒が国際交流事業に参加する機会となるよう、交流事業計画を策定した。また、海外派遣参加生徒は各中学校文化祭において、パネル展示やグループ発表などの研修報告を行い、多くの生徒が国際的な意識を持つことができている。【担当：教育総務課】 |
| (3) 特別支援教育、人権・同和教育の推進 | 評価結果<概ね順調> |
| ②児童生徒の保護者、学校ニーズにあった支援員の配置ができており評価できる。しかし、学習支援の配置は対応できていない状況であり、今後有効な取組の検討に努められたい。（小、中学校生活支援員設置事業） | ②生活支援員の配置希望が年々増加しており、平成 27 年度も学校生活支援の充実を図った。学習支援員の配置については、学校ニーズを見極め慎重に検討を行っている。 【担当：学校教育課・教育総務課】 |
| (4) 安全・安心な学校づくりの推進 | 評価結果<概ね順調> |
| ③近年、全国的に児童生徒に対する事件が発生している。市内において発生する事案等について速やかな情報発信とともに、学校と地域が連携した取組ができるよう努められたい。（不審者情報メール発信事業等） | ③現在、学校や保護者だけでなく、学校と地域が連携して活動できるよう各学校の見守り隊や青色防犯パトロールをはじめとした地域の安全組織の登録者へ即時情報発信を行った。 今後は、見守り隊や青色防犯パトロールを所管する組織に対して、発信された情報を活用した取組を実施していただくよう依頼していく。 【担当：学校教育課】 |

| | |
|--|---|
| <p>(7) よりよい教育環境づくりの実現</p> | <p>評価結果<概ね順調></p> |
| <p>④統合に係る校舎建設について、建設事業が計画通り推進されており評価できる。一方、全国では学校施設内で事故も発生しているため、児童生徒が安全・安心に過ごせる学校施設となるよう施設修繕、整備に努められたい。(小、中学校施設修繕事業)</p> <p>⑤児童がよりよい環境で教育を受けることができるよう小学校再編が推進されており、明浜地区及び野村地区の統合が完了したことは評価できる。平成 27 年度の城川地区及び今後の宇和地区で、理解を深めていただくため保護者、地域住民、PTA等に引き続き十分な説明をして協議を進められたい。(学校再編推進事業)</p> | <p>④学校施設の老朽化は進んでおり、すべての学校で施設点検を実施し、状況を確認した。緊急性を見極め、優先順位を付け修繕を実施する計画を策定した。【担当：教育総務課】</p> <p>⑤城川地区 4 校の再編を完了することができた。宇和地区では、明間小学校と皆田小学校の段階的統合について、保護者及び地域から賛同を得ることができたため、平成 28 年度に再編推進委員会を組織することになった。 【担当：教育総務課】</p> |
| <p>2 ライフステージに応じた社会教育の推進</p> | |
| <p>(2) 公民館活動の推進</p> | <p>評価結果<概ね順調></p> |
| <p>①公民館は各地域における社会教育・生涯学習の活動拠点であり、それぞれ特色ある取組が実施され評価できる。今後も地域ニーズにあった取組を推進するとともに、地域コミュニティ形成への積極的な参画など、行政部局と連携して、住民と行政が協働して進める「地域づくり交付金事業」の活用や支援の充実に努められたい。小学校再編も進んでいるなか、地域の活動拠点である公民館の在り方の検討や活動推進の充実に引き続き努められたい。(公民館各種イベント、講座事業)</p> <p>②市内には多くの社会教育施設がある。しかし、耐震化できていない施設もあるため、住民が安全・安心に施設を利用できるように、改修計画を立て緊急性の高いものから計画的な整備に努められたい。(公民館耐震化事業)</p> | <p>①公民館は地域住民の活動拠点であり、地域に応じた取組を継続するとともに、住民一人ひとりが生活や地域課題の解決のための取組に参画できるよう推進した。 また、社会教育推進の施設という位置づけであると同時に、地域住民にとって一番身近な行政機関となっている。社会環境の変化に対応し、求められる役割を果たしていく施設への「転換の時期」にきていると考えており、そのため公民館の在り方を検討する庁内検討委員会を発足させ協議を始めた。 【担当：生涯学習課】</p> <p>②施設の耐震化については、平成 24 年度に策定された「西予市公共施設耐震化計画」に基づき、耐震診断・補強設計及び耐震化工事を進めている。平成 27 年度においては、石城公民館の耐震化工事を完了した。 今後は公民館の在り方の検討も踏まえながら、計画的な耐震化に努める。【担当：生涯学習課】</p> |
| <p>(3) 心豊かでたくましい青少年の育成</p> | <p>評価結果<概ね順調></p> |
| <p>③青少年を取り巻く環境は年々変化しており、特にインターネットや携帯電話の利用等について指導に取り組んでいただきたい。(青少年補導センター運営事業)</p> <p>④第 26 回の開催を迎えたアドベンチャースクール事業について、長期にわたる取組であり関係者の努力を評価する。市の特色である豊かな自然を活用した取組</p> | <p>③市青少年育成協議会で協議し、児童生徒のスマホ、携帯電話の使用についてのきまりを定めた。(「西予市共通のきまり」)各学校では使用方法の勉強会などを開いている。また、補導委員会ではスマホ等ネットトラブル対策の研修に参加した。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>を今後も継続的に努められたい。(アドベンチャースクール事業)</p> | <p>【担当：生涯学習課】 ④キャンプを継続する上で、野村少年自然の家の老朽化など課題は多くあるが、大野ヶ原小学校の施設をキャンプ拠点の一部として使用するなど、継続できる取組を行った。また、四国西予ジオパークのジオポイントを巡る活動も行った。 【担当：野村教育課】</p> |
| <p>(4) 人権・同和教育の推進</p> <p>⑤市内各地で開催している地区別人権教育懇談会の開催回数は、目標値を達成しており取組を評価できる。小集落での開催は大切なことだと感じているが、ずっと同じスタイルでの開催であり参加者の固定化などの課題もある。このため、学習会の開催を何かの行事と重ねるなど工夫して参加者の増加につながるよう努められたい。(地区別人権教育懇談会事業)</p> | <p>評価結果<概ね順調></p> <p>⑤地区別人権教育懇談会の進め方として、多くは身近な問題を含めた人権啓発のDVDの視聴や講話を実施している。このDVDを使用した学習会には参加希望が多くあり、年齢層の拡大や参加意欲を高めることができた。また、地区の総会や常会時を利用した学習会を実施することにより参加者の増加に努めた。【担当：生涯学習課】</p> |
| <p>(5) 図書館活動の充実</p> <p>⑥図書館システムを使ったサービス業務の充実により、その利用者が増加している取組について評価できる。利用者からの要求に対応できるように業務の効率化に努められたい。(図書館電算システム管理事業)</p> | <p>評価結果<概ね順調></p> <p>⑥利用者が利用しやすい図書館となるよう中央館・分館の連携に努めた。【担当：市民図書館】</p> |
| <p>3 人生を豊かにする文化芸術の振興</p> | |
| <p>(1) 文化財の保護と活用</p> <p>①茶堂は市の貴重な文化財であり、茅葺の形で残していく必要がある。しかし、県内に茅葺職人が少ないため、県外の職人に葺き替えを依頼している現状がある。このため、茶堂文化を残す考えで、西予市だけでなく四国エリアで職人を育成するようなネットワークなど、将来のビジョンを描いて保存に取組んでいきたい。(民俗文化財保存事業(茶堂))</p> | <p>評価結果<概ね順調></p> <p>①茅葺茶堂の保存を促進するため補助制度の拡充について、市文化財保護審議会の意見を聞き、補助金交付要綱を整備した。また、茶堂の現状を把握するための調査について専門家と協議した。なお職人育成、ネットワークづくりについては、引き続き関係者と検討する。 【担当：文化体育振興課】</p> |
| <p>(2) 文化の振興</p> <p>②各地区で開催されている文化祭について、いつどのような形で開催されているか住民に周知できていない現状がある。このため、広報誌や防災行政無線等を活用して広く周知に努められたい。また、内容がマンネリ化しているように感じられるため、団体等の固定化の課題もあるが各団体の活性化も図るとともに、各地区それぞれで開催している文化祭の一本化も検討していただきたい。(文化協会補助事業)</p> | <p>評価結果<概ね順調></p> <p>②一部の文化祭で広報誌や防災行政無線、市のホームページを活用して周知に努めた。また、宇和町文化祭では「いつでも どこでも だれでも」文化活動を親しむことができるというコンセプトのもと、文化体験プログラムを拡充(平成27年度は平成26年度の3から7)し、内</p> |

| | |
|---|---|
| | 容の充実を図った。文化祭の一本化に伴う展示や発表の機会の減少、鑑賞の機会の減少などのデメリットが想定されるため、当面は、現状が望ましいと考えている。 【担当：文化体育振興課】 |
| (3) 文化活動の環境と基盤の整備 | 評価結果<概ね順調> |
| ③宇和文化会館の空調機器・音響照明設備及びギャラリーしろかわの空調設備等の改修により施設が改善され、利用者が安心して文化活動に取り組む環境を整えられており評価できる。今後は、利用者の増加につなげるとともに、施設の改修計画を立て緊急性の高いものから計画的な整備に努められたい。(各施設管理運営事業) | ③施設の環境整備として平成 27 年度は宇和文化会館の自動ドアや外部トイレの屋根修繕を行った。 今後は諸施設の点検報告書に基づき、緊急性の高いものから計画的に整備を行っていく。 【担当：文化体育振興課】 |
| (4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進 | 評価結果<概ね順調> |
| ④「古代ロマンの里整備活用基本計画」に基づき推進された、愛媛県の歴史の道調査や詳細構想に基づく笠置街道の保護や周辺の文化財の把握、また各種事業が展開されていることについて評価できる。引き続き西予市の特色ある文化施策として取り組んでいただきたい。(古代ロマンの里推進事業) | ④笠置街道の測量調査等を実施したほか、歴史文化講演会を開催した。また例年開催している駅からウオークを八幡浜市との共催で実施した。【担当：文化体育振興課】 |
| 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進 | |
| (1) スポーツの振興 | 評価結果<概ね順調> |
| ①各総合型地域スポーツクラブの魅力ある事業を支援し、クラブ会員の増加を目指されている取組について評価できる。平成 27 年度ですべてのクラブが t o t o スポーツ振興くじ助成期間が終了することに伴い、健全で安定的なクラブ運営に向けて支援体制に努められたい。また、未設立の地区においては、引き続き設立できるよう取り組んでいただきたい。(総合型スポーツクラブ補助事業) ②脳を活性化させ、神経系の働きを高めるトレーニング方法である「コーディネーショントレーニング」を学ぶ教室を 7 回開催され、親子が体験しながら学び、また、指導者が今までとは違った指導方法を学ぶことができている取組について評価できる。引き続きスポーツ教室を開催し、競技スポーツの底辺拡大とえひめ国体の P R 活動に努められたい。(スポーツ教室開催事業) | ①総合型地域スポーツクラブに健康づくりを推進するための新規事業を委託するとともに、公益財団法人ライフスポーツ助成事業を活用して各スポーツクラブが主体的に取り組む事業に対して事務処理などの支援を行った。しかし、未設立の地区においては、課題も多く、その地域の実情に応じたスポーツクラブの今後の展望を見据えて検討する。 【担当：文化体育振興課】 ②「コーディネーショントレーニング」においては、同じ会場で実技と講義を行い、より分かりやすい教室内容となっている。平成 27 年度の会場は、野村のみとなったが、市内全域で開催できるよう、学校、ジュニアスポーツ団体等との調整を行っていききたい。また、教室を利用して「みきゃん着ぐるみ」の活用や国体啓発グッズを配布することで、 |

| | |
|---|---|
| | えひめ国体のPRに努めた。 【担当：文化体育振興課】 |
| (2) えひめ国体の推進 | 評価結果<概ね順調> |
| ③2017 愛顔つなぐえひめ国体の西予市開催に向けて、その開催会場となる施設を国体開催基準に適合する施設として整備するために、平成 26 年度から着工し平成 28 年度に開催するリハーサル大会(7月開催)までに完成させる工程で進んでいることについて評価できる。また、相撲競技では強化支援等がなされており評価できる。競技役員育成など引き続き支援に努められたい。(愛媛国体施設整備事業・愛媛国体競技役員等養成事業) | ③2017 愛顔つなぐ国体の西予市開催競技会場の整備については、平成 28 年度のリハーサル大会に間に合うよう、ほぼ工程どおりに工事を進めた。相撲競技への強化支援については、野村高校相撲部の生徒がわかやま国体に出場し、入賞するなど成果が現れている。また、競技役員の養成も順調に進んでおり、有資格者が増加した。 【担当：文化体育振興課（国民体育大会推進室）】 |

II 西予市教育振興基本計画（平成26年3月策定）について

1 基本理念

『ふるさとの未来へつなぐ人づくり』

本市の特性を生かし、西予市を誇りに感じ、「ふるさとの未来」を思い、次代を担う「人づくり」を推進します。

2 基本目標

「夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ」

「生きる力」の育成を基盤とした学校教育を推進するとともに、学校や家庭、地域が連携・協力し、市の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。また、ふるさとを愛する心を育て、夢多き未来につながる教育に努めます。

「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」

市民が生涯現役として、ふるさと西予の歴史・文化やスポーツに親しみ、積極的にまちづくりへ参画できるように、生涯学習の場を充実させて活躍できる場の提供に努めます。

3 重点目標

「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

学校・家庭・地域の連携・協力により、幼児・児童・生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けさせ、社会の一員としてたくましく生きていく力を育成します。

ライフステージに応じた社会教育の推進

少子化・高齢化・核家族化が一般化している現代において、家庭・地域・行政が役割を明確にし、市民一人ひとりが自発的に学習し学んだ成果を社会に還元できる社会（地域）づくりの向上を目指します。

人生を豊かにする文化芸術の振興

市民共有の貴重な財産である歴史、文化、文化財などについて、調査・研究のうえ保護、活用し、市民が文化財に親しむ機会を創出します。また、市民の芸術文化活動を支援し、鑑賞の機会を提供します。

健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

子どもから高齢者まで、年齢、性別、健常者・障がい者の区別なく、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指します。

4 施策の体系

○基本目標：夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ

| 重点目標 | 施策 | 事務事業等 |
|-------------------------|-------------------------------|---|
| 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進 | (1) 社会総がかりで取り組む教育の推進 | ①特色ある学校づくりの推進 ②学校評価の充実と活用 |
| | (2) 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進 | ①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成 |
| | (3) 特別支援教育、人権・同和教育の推進 | ①個に応じた支援の充実 ②いじめや差別を許さない集団づくり |
| | (4) 安全・安心な学校づくりの推進 | ①実効性のある防災教育の推進 ②学校や地域の安全確保の推進 |
| | (5) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化 | ①市所属部会、市教育研究大会の充実 ②研修活動の充実 |
| | (6) 幼稚園教育の充実 | ①充実した幼児教育の提供 ②子育て支援の充実 |
| | (7) よりよい教育環境づくりの実現 | ①学校・公立幼稚園の再編推進 ②校舎の改築及びICT設備の整備等 ③小中一貫教育の検討 |

○基本目標：ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと

| 重点目標 | 施策 | 事務事業等 |
|---------------------------|------------------------|---|
| 2 ライフステージに応じた社会教育の推進 | (1) 生涯学習の推進 | ①生涯を通じた多様な学習機会の提供 |
| | (2) 公民館活動の推進 | ①地域と連携した公民館活動の充実 ②社会教育関係団体の育成と連携 |
| | (3) 心豊かでたくましい青少年の育成 | ①青少年健全育成体制の強化 ②家庭、地域の教育力の向上 ③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進 |
| | (4) 人権・同和教育の推進 | ①学習機会の拡充と啓発活動の充実 ②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実 |
| | (5) 図書館活動の充実 | ①読書活動の普及啓発 ②サービス充実による読書人口の増加 |
| 3 人生を豊かにする文化芸術の振興 | (1) 文化財の保護と活用 | ①文化財・文化遺産の保護と活用 ②文化財の継承と次世代を担う人材の育成 |
| | (2) 文化の振興 | ①文化の継承、次世代を担う人材の育成 ②芸術文化、生活文化の振興 |
| | (3) 文化活動の環境と基盤の整備 | ①文化施設の整備・充実 |
| | (4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進 | ①古代ロマンの里構想の推進 ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進 ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 |
| 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進 | (1) スポーツの振興 | ①生涯スポーツの普及と活動支援 ②スポーツ施設の整備・充実 |
| | (2) えひめ国体の推進 | ①競技スポーツの振興と人材育成 ②関係施設の整備・充実 |

Ⅲ 西予市教育委員会の点検・評価について

1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

| |
|--|
| ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等） 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。 |
|--|

2 点検・評価の対象、実施期間

（1）点検・評価の対象

- ・平成27年度における教育委員会の活動状況
- ・平成27年度における教育委員会の取組施策

（2）点検・評価の実施期間

平成28年9月～12月

3 点検・評価の方法

（1）自己点検・評価

教育委員会主管課が西予市教育振興基本計画に基づく取組を自己点検・評価します。

（2）学識経験者の意見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価結果について、選任する学識経験者3名から評価会議で意見を伺います。

| 氏名 | 団体・役職名 |
|-------|----------|
| 大野 哲寛 | 元小学校長 |
| 兵頭 三樹 | 元市役所職員 |
| 大塚 晶司 | 元社会教育委員長 |

4 自己点検・評価の構成

（1）施策の評価（A表）

「施策の体系」の表に示した18の施策毎に施策を構成する事務事業等の実績及び成果等を分析し、取組の成果（進行状況）を次の表1の区分により総合的に評価します。

(表 1)

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 順 | 調：施策の成果が十分にあり、進行状況が順調であると判断されるもの |
| 概ね順 | 調：施策の成果がある程度あり、進行状況が概ね順調であると判断されるもの |
| やや遅れている | ：施策の成果があまりなく、進行状況がやや遅れていると判断されるもの |
| 遅れている | ：施策に成果がなく、進行状況が遅れていると判断されるもの |

※担当課が2課以上ある場合の評価

評価及び評価に対する分析について協議し、評価を一本化しています。

(2) 主な取組事業の点検・評価 (B表)

施策を構成している主な取組事業の内容、実績、評価と今後の課題・対応方向等について分析しています。

(記入項目)

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 事務事業等 | 課題解決に設定した具体的な方策。※別紙施策の体系を参照 |
| 成果指標 | 西予市教育振興基本計画において、各取組の推進が効果的となるよう設定した指標 |
| 取組事業 | 取組を推進するための事業名 |
| 事業内容 | 取組む事業の内容 |
| 実績 | 実施した事業の実績等 |
| 評価と今後の課題・対応方向 | 実施した事業の評価と今後の事業を進める上での課題と、その改善点や対応の方向 |
| 決算額 (千円) | 平成 27 年度の決算額 (事業の総額) ※千円単位に四捨五入 |

(3) 成果指標の評価・分析 (C表)

成果指標の評価は、18の施策の中で設定した14の成果指標の達成状況を下記表2の区分により評価し分析しています。

(表 2)

| |
|-----------------------|
| A：達成に向けて予定どおり進行している |
| B：達成に向けて概ね予定どおり進行している |
| C：達成に向けて予定よりやや遅れている |
| D：達成に向けて予定より遅れている |

(記入項目)

| | |
|-------|--|
| 成果指標 | 西予市教育振興基本計画において、各取組が効果的となるよう設定した指標名 |
| 達成状況 | 表2の中から、成果指標の達成状況の評価項目を選択 |
| 分析・評価 | 平成27年度の成果指標値について、基準値との比較や社会情勢等を考慮した分析・評価 |
| 基準値 | 西予市教育振興基本計画において、基準とした平成24年度の値 |
| 目標値 | 西予市教育振興基本計画において、目標とする平成30年度の値 |
| 実績値 | 西予市教育振興基本計画において、平成27年度時点における値 |
| 増減 | 設定した指標の実績値と基準値の差 |

IV 点検・評価結果

IV-1 教育委員会の活動状況

1 委員選任状況

(平成27年6月10日現在)

| 職 | 氏名 | 性別 | 職業 | 委員任期 | 委員通算 在任年数 | 役職任期 | 常勤・非常勤の別 |
|------------------|--------|----|-------|---------------------|--------------|--------------------------|----------|
| 委員長 | 平岡 長治 | 男 | 無職 | H25.6.10 H29.6.9 | 2 | H27.6.10 ～ H28.6.9 | 非常勤 |
| 職務代理者 委員長 | 熊谷 マユミ | 女 | 会社員 | H24.6.10 H28.6.9 | 3 | H27.6.10 ～ H28.6.9 | 非常勤 |
| 委員 | 上甲 和博 | 男 | 無職 | H26.6.10 H30.6.9 | 1 | | 非常勤 |
| 委員 | 山本 恵子 | 女 | 無職 | H27.6.10 H31.6.9 | 0 | | 非常勤 |
| 委員 教育長 (兼) | 宇都宮 又重 | 男 | 地方公務員 | H24.6.10 H28.6.9 | 3 | H24.6.10 ～ H28.6.9 | 常勤 |

※教育委員及び教育長の任期は4年間

※教育委員長及び教育委員長職務代理者の任期は1年

2 会議開催状況

①会議開催数・付議案件数

| | |
|-----|-----|
| 定例会 | 12回 |
| 臨時会 | 2回 |
| 案件 | 98件 |

②会議に付された案件（定例会・臨時会）

| 月日 | 案件名 |
|---------------------------------|--|
| 4月23日 定例会 | 平成27年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について |
| | 西予市文化的景観調査委員会設置要綱の制定について |
| | 西予市文化的景観調査委員会委員の委嘱について |
| | 平成27年度朝日文楽会館建設準備委員会委員の委嘱について |
| | 西予市三瓶文化会館運営委員会委員の委嘱について |
| | 平成27年度西予市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について |
| | 平成27年度西予市公民館運営審議会委員の委嘱について |
| | 平成27年度西予市公民館長の任命について |
| 5月21日 定例会 | 平成27年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について |
| | 西予市公民館運営審議会委員の委嘱について |
| | 西予市公民館分館長の任命について |
| | 西予市公民館分館主事の任命について |
| | 教育財産の取得の申し出について |
| | 教育財産の処分の申し出について |
| | 西予市学校給食センター厨房機器業者選定委員会設置要綱制定について |
| | 西予市立学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例制定について |
| 6月10日 臨時会 | 西予市教育委員会委員長の選挙について |
| | 西予市教育委員会委員長職務代理者の選挙について |
| | 西予市教科用図書選定委員会設置要綱制定について |
| | 西予市教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について |
| | 西予市教科用図書選定委員会調査員の任命について |
| 6月26日 定例会 | 平成27年度西予市一般会計補正予算第1号に対する意見の申出を行った専決処分の承認について |
| | 平成27年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について |
| | 西予市ギャラリーしろかわ運営審議会委員の委嘱について |
| | 西予市明浜歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について |
| | 三瓶小学校プール改築工事請負契約の締結について |
| | 魚成小学校プール改築工事請負契約の締結について |
| | 西予市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示制定について |
| | 西予市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する告示制定について |
| | 西予市公民館運営審議会委員の委嘱について |
| | 西予市社会教育委員の委嘱について |
| | 西予市図書館協議会委員の任命について |
| | 西予市市誌編纂委員会設置要綱を廃止する告示制定について |
| | 教育財産の取得の申し出について |
| 西予市三瓶文化会館条例施行規則の一部を改正する規則制定について | |
| 7月23日 定例会 | 教育財産の取得の申し出について |

| | |
|---------------|--|
| 7月23日 定例会 | 西予市立幼稚園保育料検討委員会設置要綱の制定について |
| | 西予市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について |
| | 西予市放課後子どもプラン運営委員の委嘱について |
| | せいよ家庭教育・子育て応援グループ員の委嘱及び任命について |
| | 教科書採択における調査研究・選定過程に関する請願について |
| 8月24日 定例会 | 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について |
| | 平成27年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について |
| | 西予市教育委員会会議規則の一部を改正する規則制定について |
| | 西予市教育委員会教育長職務代理者の事務を委任する規則制定について |
| | 教育財産の取得の申し出について |
| | 西予市青少年補導センター運営審議会委員の委嘱について |
| | 西予市学校給食センター厨房機器業者選定委員会設置要綱制定について |
| 9月25日 定例会 | 平成27年度西予市一般会計補正予算第2号に対する意見の申出を行った専決処分の承認について |
| | 平成27年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について |
| | 西予市スクールバスの取得に対する意見の申し出を行った専決処分の承認について |
| | 西予市学校給食センター厨房機器業者選定委員会委員の任命について |
| | 西予市立幼稚園保育料検討委員会委員の委嘱及び任命について |
| | 西予市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定について |
| 10月23日 定例会 | 西予市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱及び任命について |
| | 西予市外国語指導助手任用規則制定について |
| 11月19日 定例会 | 平成27年度西予市一般会計補正予算第3号に対する意見の申出を行った専決処分の承認について |
| | 城川地区スクールバス運行業務委託者選定委員会委員の委嘱及び任命について |
| 12月24日 定例会 | 平成27年度西予市一般会計補正予算第4号に対する意見の申出を行った専決処分の承認について |
| | 平成27年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について |
| | 宇和学校給食センター建築工事請負契約に対する意見の申出を行った専決処分の承認について |
| | 宇和学校給食センター機械設備工事請負契約に対する意見の申出を行った専決処分の承認について |
| 1月20日 定例会 | 平成27年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について |
| | 西予市教職員宿舎条例の一部を改正する条例制定について |
| | 西予市学校給食センター及び学校給食調理場の一部を改正する条例制定について |
| | 西予市社会体育施設条例の一部を改正する条例制定について |
| | 西予市教育委員会通学区域規則の一部を改正する規則制定について |
| | 西予市三好等奨学基金条例等を廃止する条例制定について |
| | 西予市育英会奨学資金貸与条例制定について |
| | 西予市子ども教育振興基金条例制定について |

| | |
|--|--|
| 1月20日 定例会 | 西予市育英会奨学金貸与条例施行規則制定について |
| | 西予市育英会奨学規定を廃止する訓令制定について |
| | 西予市城川地域育英会奨学規定を廃止する訓令制定について |
| | 西予市三瓶地域育英会奨学規定を廃止する訓令制定について |
| | 西予市立幼稚園における保育料等徴収条例の一部を改正する条例制定について |
| | 西予市文化的景観調査委員会委員の委嘱について |
| 2月24日 定例会 | 平成27年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について |
| | 西予市小中学校社会見学費補助金交付要綱を廃止する訓令制定について |
| | 西予市学校事務の共同実施組織に関する規程の一部を改正する訓令制定について |
| 3月10日 臨時会 | 西予市教育振興基本計画の一部改訂について |
| 3月22日 定例会 | 平成27年度西予市一般会計補正予算第6号に対する意見の申出を行った専決処分の承認について |
| | 平成28年度西予市一般会計予算に対する意見の申出を行った専決処分の承認について |
| | 宇和学校給食センター厨房機器取得に対する意見の申出を行った専決処分の承認について |
| | 西予市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定について |
| | 西予市スクールバス運行及び利用に関する規則の一部を改正する規則制定について |
| | 西予市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則制定について |
| | 西予市立幼稚園における保育料等徴収条例施行規則の制定について |
| | 西予市茶堂保存事業費補助金交付要綱制定について |
| | 西予市学校生活支援員配置取扱要領の一部を改正する訓令制定について |
| | 平成28年度西予市要保護・準要保護児童生徒の認定について |
| | 西予市公民館長の任命について |
| | 西予市公民館運営審議会委員の委嘱について |
| | 西予市青少年補導センター補導員の委嘱について |
| | 西予市民図書館長の任命について |
| | 西予市文化財保護審議会委員の委嘱について |
| 西予市スクールバス通学に係る補助金交付要綱制定について | |
| 西予市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について | |

③教育委員会議の公開

西予市教育委員会傍聴規則の規定に基づき、会議は教育委員長の許可を得て傍聴できます。

- ・平成 27 年度 傍聴人 8 人

3 委員会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会議への出席以外に、市議会、学校訪問、小学校再編計画の地域別推進委員会など各種行事等へ参加しました。（詳細は、4 主な活動実績一覧を参照）

- ①市議会関係・・・・・・・・定例会（4回）、臨時会（2回）
- ②学校訪問・・・・・・・・小学校（16校）、中学校（5校）
- ③各種行事・大会・・・・・・・・126回
- ④その他の行事・・・・・・・・38回

4 主な活動実績一覧

| 月 | 教育委員会関係 | 市議会関係 | 各種行事・大会 | 学校訪問 | その他 |
|---|------------|------------|--|--|--|
| 4 | 定例会 (1) | | <ul style="list-style-type: none"> ・市新任式 ・明浜小、野村小学校開校式 ・市内小学校入学式（16校） ・市内中学校入学式（5校） ・市内県立学校入学式 ・市連合婦人会総会 ・市校長、教頭、共同事務室長合同研修会 ・市所属部会総会 ・南予教育事務所管内校長研修会 ・文化的景観保護推進事業検討会 ・市校長、体育主任合同研修会 ・市公民館連絡協議会総会 ・県人権教育協議会西予支部総会 ・市育英会理事会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・れんげ祭り ・市部長会 |
| 5 | 定例会 (1) | 臨時会 (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・第 24 回朝霧湖マラソン大会 ・管内市町教育委員会連合会総会 ・四国都市教育長連絡協議会総会 ・市 P T A 連合会総会 ・市青少年育成協議会定例委員会 ・県視聴覚教育協会総会及び役員会 ・市内小学校運動会（三瓶小、宇和町小、野村小） ・北海道黒松内町中学校修学旅行団来訪 ・市結婚推進委員会総会 ・県公立小中学校寄宿舎運営連絡協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問（5月、6月）間に市内全ての小中学校を訪問（指導） ○小学校 田之筋小、遊子川小、土居小、魚成小、高川小、明浜小 ○中学校 城川中、野村中、明浜中 | <ul style="list-style-type: none"> ・市部長会 ・市内交通安全街頭指導 |

| | | | | | |
|---|--------------------------|------------|--|--|--|
| 5 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・城川地区小学校統合調印式 ・市特別支援教育連絡協議会 ・市スポーツ推進委員協議会総会 | | |
| 6 | 臨時会 (1) 定例会 (1) | 定例会 (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・「えひめ教育の日」推進協議会総会 ・県市町教育長会議 ・宇和文化会館理事会 ・市防犯協会理事会 ・市中学校総合体育大会 ・市中学校陸上、水泳大会 ・愛教研講師、助教諭、養護教諭研修会 ・市校長会 ・市教育支援委員会 ・第1回市総合教育会議 ・市人権のつどい(宇和・野村会場) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問 ○小学校 三瓶小、惣川小、大野ヶ原小、野村小、多田小、中川小、宇和町小、石城小、皆田小、明間小 ○中学校 宇和中、三瓶中 | <ul style="list-style-type: none"> ・市地方創生戦略策定本部会 ・市連合婦人会親睦レクバレー大会 |
| 7 | 定例会 (1) | | <ul style="list-style-type: none"> ・朝立会館落成式 ・市教育懇談会 ・市社会教育委員会 ・市教科用図書選定委員会 ・城川地区小学校再編推進委員会 ・県市町教育委員会連合会定期総会 ・各支部小学校水泳記録会 ・市行政連絡員協議会代表者会 ・市幼年教育研修会 ・市衛生センター起工式 ・市要保護児童対策地域協議会代表者会議 ・第21回全国「かまぼこ板の絵」展覧会表彰式 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市部長会 ・「社会を明るくする運動」西予地区出発式 ・市幼少年女性防火委員会 ・瀬戸内少年相撲大会 |
| 8 | 定例会 (1) | | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒国際交流事業(ニュージーランド)結団式、解団式 ・旧開智・開明学校姉妹館交流青少年派遣事業 ・児童平和学習おイネさん交流事業 ・県戦没者追悼式 ・えひめ国体西予市実行委員会常任委員会 ・県公立小中学校寄宿舎運営連絡協議会研究大会 ・市校長会研修会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市部長会 ・市組織検討委員会 ・トップと語る会 ・Z-1グランプリ ・三瓶教育を語る会 ・夏期巡回ラジオ体操、みんなの体操会 |

| | | | | | |
|----|------------|------------|--|--|--|
| 9 | 定例会 (1) | 定例会 (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・市内県立学校体育祭 (3校) ・市内中学校運動会 (5校) ・市内小学校運動会 (13校) ・城川地区小学校再編推進委員会 ・県、市合同文化財保存技術研修会 ・市青少年育成協議会 ・市教育支援委員会 ・市中学校長連絡会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市職員採用面接 ・市教育部課長会 |
| 10 | 定例会 (1) | | <ul style="list-style-type: none"> ・第49回城川オリンピック ・市内中学校新人体育大会 ・市内小学校陸上記録会 ・せいよ婦人大会 ・市防災教育推進連絡協議会 ・市校長会 ・県視聴覚教育研究大会 ・市教育研究大会 ・県歴史文化博物館協議会 ・県立野村高校創立70周年記念式典 ・県公民館研究大会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市部長会 ・国際交流の夕べ ・全日本女子相撲選手権 ・市組織検討委員会 ・市職員採用面接 |
| 11 | 定例会 (1) | 臨時会 (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・「えひめ教育の日」推進大会 ・第18回宮中雲子音楽祭 ・県小中学校長研究大会 ・県文楽合同公演大会 ・第164回乙亥大相撲 ・市防犯被害者支援連絡協議会総会 ・市福祉大会 ・市人づくりを考える会、市PTA大会 ・県人権、同和教育研究大会 ・市臨時校長会 ・市内小中学校音楽発表会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市部長会 ・市職員採用選考会 ・南予教育を考える集い ・市職員スポーツ大会 ・愛媛FC活動報告会 ・お伊ネ賞表彰式及びお伊ネの会シンポジウム |
| 12 | 定例会 (1) | 定例会 (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・宇和文化の里中高齢者・女子駅伝競走大会 ・全国児童水辺の風景画コンテスト表彰式 ・西予地区非行防止対策協議会総会 ・城川地区小学校再編推進委員会 ・市駅伝競走大会 ・第2回市総合教育会議 ・市校長会研修会 ・市教育支援委員会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市組織検討委員会 ・市仕事納め式 |

| | | | | | |
|----|---------------------------|--------------------------|--|-------------------|--|
| 1 | 定例会 (1) | | <ul style="list-style-type: none"> ・市成人式 ・管内市町教育長会議 ・市歴史文化講演会 ・第3回市総合教育会議 ・南予管内市町教育委員会研修会 ・各町駅伝競走大会（明浜、野村、城川、三瓶） ・市臨時校長会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市仕事始め式 ・市部長会 ・市職員採用選考会 ・小中一貫教育全国サミット in なら |
| 2 | 定例会 (1) | | <ul style="list-style-type: none"> ・宇和学校給食センター起工式 ・大亀財団スポーツ賞表彰式 ・市校長会 ・市青少年育成協議会定例会 ・明間地区小学校再編計画地域住民説明会 ・県公立小中学校寄宿舎運営連絡協議会 ・第4回市総合教育会議 ・市歴史文化講演会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市消防出初め式 ・市部長会 |
| 3 | 臨時会 (1) 定例会 (1) | 定例会 (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・市内県立学校卒業式 ・市内中学校卒業式（5校） ・市内小学校卒業式（16校） ・市内公立幼稚園卒園式（2園） ・市社会教育委員会 ・皆田地区小学校再編計画地域住民説明会 ・城川地区小学校再編推進委員会 ・県人権教育西予支部役員会 ・市放課後子どもプラン運営委員会 ・魚成小学校、土居小学校、高川小学校、遊子川小学校閉校記念式典 ・市校長会懇談会 ・市歴史文化講演会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市臨時部長会 |
| 合計 | 臨時会 (2) 定例会 (12) | 臨時会 (2) 定例会 (4) | 126回 | 小学校（16） 中学校（5） | 38回 |

IV-2 施策別の点検・評価結果

1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧

| 重点目標 | 施策 | 施策評価結果 | 事務事業等 | 成果指標 | 達成状況 |
|--------------------------|-------------------------------|--------|-------------------|---------------|------|
| 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進 | (1) 社会総がかりで取り組む教育の推進 | 順調 | ①特色ある学校づくりの推進 | | |
| | | | ②学校評価の充実と活用 | | |
| | (2) 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進 | 順調 | ①確かな学力の育成 | | |
| | | | ②豊かな心の育成 | | |
| | | | ③健やかな体の育成 | | |
| | (3) 特別支援教育、人権・同和教育の推進 | 順調 | ①個に応じた支援の充実 | | |
| | | | ②いじめや差別を許さない集団づくり | | |
| | (4) 安全・安心な学校づくりの推進 | 順調 | ①実効性のある防災教育の推進 | | |
| | | | ②学校や地域の安全確保の推進 | | |
| | (5) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化 | 概ね順調 | ①市所属部会、市教育研究大会の充実 | | |
| | | | ②研修活動の充実 | | |
| | (6) 幼稚園教育の充実 | 概ね順調 | ①充実した幼児養育の提供 | | |
| | | | ②子育て支援の充実 | | |
| | (7) よりよい教育環境づくりの実現 | 概ね順調 | ①学校・公立幼稚園の再編推進 | | |
| ②校舎の改築及びICT設備の整備等 | | | ・ITを活用した授業の割合 | A | |
| ③小中一貫教育の検討 | | | ・耐震化率 | B | |
| 2 ライフステージに応じた社会教育の推進 | (1) 生涯学習の推進 | 概ね順調 | ①生涯を通じた多様な学習機会の提供 | | |
| | (2) 公民館活動の推進 | 概ね順調 | ①地域と連携した公民館活動の充実 | ・公民館運営審議会開催回数 | B |
| | | | ②社会教育関係団体の育成と連携 | | |
| | (3) 心豊かでたくましい青少年の育成 | 概ね順調 | ①青少年健全育成体制の強化 | ・街頭補導回数 | B |
| | | | ②家庭、地域の教育力の向上 | ・移動補導センター回数 | B |
| ③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進 | | | | | |

| | | | | | |
|------------------------|-------------------|------------------------------|--|-----------------------------------|---|
| | (4) 人権・同和教育の推進 | 概ね順調 | ①学習機会の拡充と啓発活動の充実 | ・地区別人権・同和教育懇談会開催回数 | B |
| | | | ②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 | | |
| | | | ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実 | ・人権・同和教育に関する講座等の開催数 | B |
| | (5) 図書館活動の充実 | 概ね順調 | ①読書活動の普及啓発 | | |
| | | | ②サービス充実による読書人口の増加 | ・利用者数（図書を借りた人数） | B |
| 3 人生を豊かにする文化芸術の振興 | (1) 文化財の保護と活用 | 順調 | ①文化財・文化遺産の保護と活用 | ・文化財を見に行ったことのある人の割合 | A |
| | | | ②文化財の継承と次世代を担う人材の育成 | | |
| | (2) 文化の振興 | 概ね順調 | ①文化の継承、次世代を担う人材の育成 | | |
| | | | ②芸術文化、生活文化の振興 | ・芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合 | C |
| | (3) 文化活動の環境と基盤の整備 | 順調 | ①文化施設の整備・充実 | ・施設や展示物の満足度 | A |
| (4) 西予市の特性を生かした文化施策の推進 | 概ね順調 | ①古代ロマンの里構想の推進 | ・古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合 | B | |
| | | ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進 | | | |
| | | ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 | | | |
| 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進 | (1) スポーツの振興 | 概ね順調 | ①生涯スポーツの普及と活動支援 | ・市民の週1回以上のスポーツ人口率 | A |
| | | | ②スポーツ振興の整備・充実 | | |
| | (2) えひめ国体の推進 | 概ね順調 | ①競技スポーツの振興と人材育成 | | |
| | | | ②関係施設の整備・充実 | ・国体開催を通して、市民の利便性が向上する施設整備（整備済施設数） | B |

2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果

重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(A表)

| | | |
|----------|-----|--|
| 施策 | (1) | 社会総がかりで取り組む教育の推進 |
| 評価 | | 順調 |
| 評価に対する分析 | | 西予市の地域の宝である四国西予ジオパークの自然環境を活用した特色ある学校づくりの中で、各学校が地域住民を講師にして自然や生活文化に触れる機会を取り入れた授業を行うことで、学校と地域の距離が近くなり、市民の教育に対する意識や関心が高まりつつある。また、各種自然体験学習や生活体験学習を通して、郷土愛の醸成や協調性・自立性を育む教育環境の整備ができ始めている。 |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| 事務事業等 | ① | 特色ある学校づくりの推進 | | |
|----------|---|--|-------------|-------|
| 成果指標 | | 設定なし | | |
| 取組事業 | | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 生徒国際交流事業 | | <p>【事業内容】 国際化時代にふさわしい人材を育成するため、生徒をニュージーランドへ派遣する。派遣までに事前説明会（2回）、事前研修（3回）を実施して、ホームステイの予備知識、研修目的などの徹底を図る。派遣先ではホームステイをしながら、語学学校に短期入学し、きめ細かい研修プログラムにより、充実した研修を実施する。そのほか、平成22年度に西予市を訪れ、ホームステイ受入など相互交流を深めているタラデルハイスクールへ訪問し、体験授業などを行う。</p> <p>【実績】 市内の中学3年生23人を選考（作文・面接等で意欲を確認）、8月3日から8月14日までの12日間、ニュージーランドへ派遣した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 海外派遣後には、参加した生徒に自己表現力や協調性、英語理解力の面で向上が見られた。国際感覚と広い視野を持った次代を担う人材（リーダー）に育つことが期待できる。今後、より質の高い事業実施のためには、選考基準や事前研修内容を精査し、海外派遣生徒の目的意識や意欲をより向上させたい。</p> | 11,791 | 教育総務課 |



タラデールハイスクールのバディと記念撮影



マオリ文化の体験学習

(A表)

| | | |
|----------|---|---------------------------|
| 施策 | (2) | 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進 |
| 評価 | 順調 | |
| 評価に対する分析 | <p>西予市学力向上推進の会等各種研修会を開催し、西予市全体で足並みを揃え、確かな学力の育成に向けての取組を行うことができている。ALTの授業参画やICT機器の充実計画により、学習環境の向上が図られてきている。</p> <p>道徳教育の充実を図り、全教育活動を通じて、西予市の未来を担う子どもの人格形成の基盤となる心情や意欲、態度並びに習慣等の育成に努めている。</p> <p>情報化社会の中で心豊かに生活できるよう携帯電話やスマートフォンのルール作りや情報モラル教育の更なる充実を図っている。</p> <p>小中学校を対象に各種大会を開催したり、参加費の一部を補助したりすることにより、体力の育成や心豊かな文化体験ができるように努めている。</p> | |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|------------------|--|----------|-------------|-----------------|
| 事務事業等 | ① | 確かな学力の育成 | | |
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 語学指導外国 青年招致事業 | <p>【事業内容】 JETプログラム関係指導者4名と嘱託外国人指導者1名が、担当校において外国語活動や英語授業にティーム・ティーチングとして補助指導者となり、英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。</p> <p>【実績】 平成27年度は、ALTが関わる授業が楽しいと感じた児童が92.2%(調査対象小学5年生)、英語によるコミュニケーション能力が向上したと感じた生徒が、前年度比3.7%増の51.8%(調査対象中学2年生)という結果であった。児童生徒の国際理解や外国語に対する興味・関心は高まり、生徒のヒヤリング力やネイティブな発音をする力が向上してきた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 各学校における授業回数の充実が図られてきた。今後、小学校における外国語の教科化、外国語活動の3、4年生実施が予定されるなか、授業内容の充実とALTが参加する授業回数の増加が期待される。学校数、児童生徒数は減少するが、現在の体制を維持しながら、外国語教育の充実に取り組みたい。</p> | | 22,025 | 学校教育課・ 教育総務課 |

(B表)

| | | | | |
|---------------|---|----------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ③ | 健やかな体の育成 | | |
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 小学校各種大会出場補助事業 | <p>【事業内容】 各学校からの申請により、県大会については補助金として宿泊費、交通費を各学校へ交付し、市内大会については、バス借上げ料、楽器運搬費などを支出する。</p> <p>【実績】 10大会の出場に係る費用について支援を行った。 (大会内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・明浜、宇和、野村、城川支部音楽発表会 ・宇和、野村支部水泳記録会 ・NHK合唱コンクール ・西予市小学校陸上記録会 ・青少年赤十字愛媛県大会 ・愛媛県小学校陸上記録会 </p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 教育活動の一部であるクラブ活動等における保護者負担の一部を軽減することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を実施していく必要があるが、大会参加の際には各学校と行程を調整し混乗するなど、より効率的なスケジュールを検討して対象経費の縮減に努めたい。</p> | | 1,214 | 学校教育課 |

(B表①)

| 事務事業等 | ③ | 健やかな体の育成 | | |
|---------------|--|----------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 中学校各種大会出場補助事業 | <p>【事業内容】 各学校からの申請により、補助金として各種大会に出場する生徒及び引率者の宿泊費、交通費等を各学校へ交付する。</p> <p>【実績】 14大会の出場に係る費用について支援を行った。 (大会内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市中学校陸上水泳大会 ・南予中学校新人体育大会 ・愛媛県中学校総合体育大会 ・四国中学校総合体育大会 ・全日本中学校陸上競技選手権大会 ・愛媛県中学校新人体育大会 ・愛媛県中学校駅伝競走大会 ・全日本アンサンブルコンテスト南予大会 ・全日本アンサンブルコンテスト愛媛県大会 ・全国箏曲コンクール ・全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会 ・全国中学校体育大会 ・RNBこども音楽コンクール ・こども音楽コンクール <p>【評価と今後の課題・対応方向】 教育活動の一部である部活動等における保護者負担の一部を軽減することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を実施していく必要があるが、大会参加の際には各学校と行程を調整し混乗するなど、より効率的なスケジュールを検討して対象経費の縮減に努めたい。</p> | | 9,158 | 学校教育課 |

(B表)

| 事務事業等 | ③ | 健やかな体の育成 | | |
|----------------|--|----------|-------------|-----------------------|
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 宇和学校給食センター運営事業 | <p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、学校給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 宇和学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安全・安心な給食の提供ができた。また、子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン週1回の献立を実施し、地産地消にも配慮したおいしい給食の提供ができた。 食数：約1,570食/日</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 児童生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。今後は新学校給食センターの建設により、これまで以上に地産地消を推進するとともに、郷土料理等を取り入れた献立を作成し、郷土への愛着が持てる食育活動に努めたい。</p> | | 37,949 | 学校教育課 (宇和学校給食センター) |

(B表)

| 事務事業等 | ③ | 健やかな体の育成 | | |
|----------------|---|----------|-------------|-----------------------|
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 三瓶学校給食センター運営事業 | <p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、学校給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 三瓶学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安全・安心な給食の提供ができた。また、子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週3回、パン週2回の献立を実施し、地産地消にも配慮したおいしい給食の提供ができた。 食数：約471食/日</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 児童生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通して食育の推進を行うことができた。今後はこれまで以上に地産地消を推進するとともに、郷土料理等を取り入れた献立を作成し、郷土への愛着が持てる食育活動に努めたい。</p> | | 32,546 | 学校教育課 (三瓶学校給食センター) |

(B表)

| | | | | |
|--------------|--|----------|-------------|-----------------|
| 事務事業等 | ③ | 健やかな体の育成 | | |
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 学校給食庶務 事業 | <p>【事業内容】 学校給食センターを除いた明浜、野村、城川地区の児童生徒を対象に安全・安心な学校給食の提供を行うとともに、共同給食調理場・単独給食調理場の円滑な運営を行っている。調理場を運営するにあたって必要となる人件費、修繕料、光熱水費、備品購入費、消耗品費等の支出を行う。</p> <p>【実績】 各給食調理場の円滑な運営と安全・安心な給食の提供を行うことができた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 児童生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。今後は新学校給食センターとの連携により、郷土への愛着が持てる食育活動に努めたい。</p> | | 78,915 | 学校教育課・ 教育総務課 |

(A表)

| | | |
|----------|-----|---|
| 施策 | (3) | 特別支援教育、人権・同和教育の推進 |
| 評価 | | 順調 |
| 評価に対する分析 | | <p>西予市特別支援連携協議会及び教育支援委員会を開催し、関係機関と連携して一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進を図ることができた。また、学校生活支援員の配置や特別支援教室の設置等、障がいの状態等に応じた学習環境の整備に努めている。</p> <p>道徳の時間の充実や教育活動全体を通して、互いを認め合い、支え合う仲間意識を育むとともに、人権・同和教育による、差別の根絶に向けての取組を行っている。また、いじめの未然防止に向けた西予市いじめストップ子ども会議の開催や不登校に対応するために関係機関との連携に努めている。</p> |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|--------------|---|---|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 個に応じた支援の充実 | | |
| 成果指標 | | 設定なし | | |
| 取組事業 | | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 小学校生活支援員設置事業 | | <p>【事業内容】 発達障がい等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた支援を行う。</p> <p>【実績】 市内小学校9校に33人の生活支援員を配置し、児童41人に支援を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 生活支援員の関わりによって、級友の対象児童への理解につながっている。また、生活支援員の声かけにより、困り感のある児童の情緒安定につながっている。適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいる。児童のニーズが多様化するなか、保護者からの配置希望は年々増加しており、配置希望に対応できるよう取り組みたい。</p> | 48,486 | 教育総務課 |

(B表)

| 事務事業等 | ① | 個に応じた支援の充実 | | |
|--------------|--|------------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 中学校生活支援員設置事業 | <p>【事業内容】 発達障がい等のある生徒に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた支援を行う。</p> <p>【実績】 市内中学校3校に7人の生活支援員を配置し、生徒7人に支援を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 生活支援員の関わりによって、級友の対象生徒への理解につながっている。また、教室の移動など生活支援員の声かけにより、スムーズに学校生活を送ることができている。生徒のニーズが多様化するなか、保護者の配置希望に対応できるよう取り組みたい。</p> | | 11,523 | 教育総務課 |

(A表)

| | | | |
|----------|-----|---|--|
| 施策 | (4) | 安全・安心な学校づくりの推進 | |
| 評価 | | 順調 | |
| 評価に対する分析 | | <p>不審者メール配信サービスについては、保護者の多くが利用しており、不審者事案の即時情報発信や台風等自然災害時における休校等の情報提供を行い、学校や地域の安全確保に十分寄与できている。</p> <p>西予市通学路安全対策プログラムの策定や通学路の安全点検を行い、児童生徒の登下校の安全確保に努めている。また、各校の危機管理マニュアル作成の指針として、学校教育課の危機管理マニュアルを作成した。危機管理課と連携し、教職員の防災士の育成や学校防災アドバイザーを招いた防災教育推進連絡協議会を開催している。</p> | |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|----------------------|---|--|-------------|-------|
| 事務事業等 | ② | 学校や地域の安全確保の推進 | | |
| 成果指標 | | 設定なし | | |
| 取組事業 | | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 不審者情報 メール配信事 業 | | <p>【事業内容】 市内で発生する不審者事案について、メールでの情報提供を希望する保護者等に対して、情報発信を行う。</p> <p>【実績】 5件の事案について情報提供を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 学校、保護者、地域の安全組織とともに協力して、不審者から園児、児童生徒の安全を確保するためには、即時性のある情報発信は必要があり、今後も継続していくことが不可欠である。 しかし喫緊の課題として、現在使用しているメール配信サービスが平成30年9月に廃止される予定となっていることから、代替サービスの検討等を進めていきたい。</p> | 74 | 学校教育課 |

(A表)

| | | |
|----------|---|-----------------------|
| 施策 | (5) | 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化 |
| 評価 | 概ね順調 | |
| 評価に対する分析 | <p>児童生徒が楽しく、よくわかる授業を目指すとともに、各種研修の充実などを通して、教職員の専門的知識・能力や倫理観、社会人としての資質の向上を図ることが社会的に求められている。市所属部会総会で研究推進の目標を定め、市教育研究大会において授業研究など実践的な研修を行うことによって、教職員の資質・能力の向上を図っている。</p> <p>また、西予市学力向上推進の会においては、先進的な取組を行っている学校の実践事例を共有するなど、教職員の指導力向上に努めている。</p> | |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|-------------|---|------------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 市所属部会、市教育研究大会の充実 | | |
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 市教育研究大会実施事業 | <p>【事業内容】 市内の小中学校教職員が集い、公開授業を実施したり分科会等で目的を絞った研修を行うことで教職員の資質の向上を図る。また、専門部会では最新の情報の共有、課題などに取り組む。</p> <p>【実績】 4月に市所属部会総会を開催し、教科ごとの研究推進の目標を定めた。10月の市教育研究大会において、その成果を公開授業で確かめた。授業参観や分科会を通して、教職員同士の情報交換を行うことにより、資質や能力の向上につながった。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 児童生徒数及び教職員数の減少により、現在行っている14教科の公開授業が困難になりつつある。このため、主要教科は毎年実施、他の教科は隔年とするなど、バランスをとって実施したい。</p> | | 101 | 学校教育課 |

(A表)

| | | |
|----------|---|----------|
| 施策 | (6) | 幼稚園教育の充実 |
| 評価 | 概ね順調 | |
| 評価に対する分析 | 補助金の交付により、幼稚園に通う保護者の負担を軽減することができ、公立・私立間の保育料格差の是正や教育環境の整備により幼稚園教育の充実を図ることができている。 | |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | |
|-----------|---|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 充実した幼児教育の提供 | |
| 成果指標 | 設定なし | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 幼稚園施設修繕事業 | <p>【事業内容】 市内市立幼稚園2園の安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した施設の修繕を実施する。</p> <p>【実績】 老朽化等による不具合箇所の修繕等を6件実施した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 不具合箇所の修繕を実施し、安全・安心な教育環境の整備に寄与することができた。 幼稚園施設は、小学校再編に伴い野村幼稚園及び惣川幼稚園の2園となっており、この2園については、施設整備が進んでいるため、今後も不具合箇所の修繕、施設点検の実施等に努めたい。</p> | 528 | 教育総務課 |

(B表)

| | | | |
|-----------------|---|-------------|-------|
| 事務事業等 | ② | 子育て支援の充実 | |
| 成果指標 | 設定なし | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 私立幼稚園就園奨励費補助金事業 | <p>【事業内容】 私立幼稚園に対して、幼児教育の振興を図る観点から、保護者の所得状況に応じた経済的負担軽減のため、補助金を交付している。幼稚園が該当する保護者の調書を取りまとめて教育委員会に申請する。教育委員会は書類を審査のうえ補助金額を確定し、幼稚園に交付する。</p> <p>【実績】 私立幼稚園4園(114人)に補助金の交付を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 低所得世帯や多子世帯に対して充実した支援を行うことができた。今後も継続して事業推進に努めたい。</p> | 13,411 | 学校教育課 |

(A表)

| | | |
|----------|-----|---|
| 施策 | (7) | よりよい教育環境づくりの実現 |
| 評価 | | 概ね順調 |
| 評価に対する分析 | | <p>I C T関連機器の充実については、既存環境を維持しつつ、より一層充実させるため、普通教室へのI C T環境整備の準備を行った。</p> <p>平成26、27年度の教職員を交えたI C T関連機器の充実についての検討を踏まえ、平成28年度から普通教室へタブレット端末・電子黒板機能付きプロジェクター・実物投影機を各教室各1台整備する準備を進めている。</p> <p>西予市小学校再編計画の推進によって、宇和地域以外では小学校の再編が完了して統合拠点校までの通学方法をスクールバスとするなど、教育環境を整えることで安定した学校運営が図れている。また、統合校舎の建設や改修工事が実施できたことにより、耐震化率も基準値から12ポイント上昇し指標の達成が目前となった。しかし、統合以外の学校施設に関しては、建築年数の経過により老朽化も進行して修繕箇所数は増加傾向にある。このため、不具合箇所の修繕を計画的に実施して、小中学校の安全・安心な教育環境を確保する必要がある。</p> |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|----------|---|--|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 学校・公立幼稚園の再編推進 | | |
| 成果指標 | | 設定なし | | |
| 取組事業 | | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 学校再編推進事業 | | <p>【事業内容】 平成21年度に策定した西予市小学校再編計画に基づき、小学校並びに公立幼稚園のよりよい方向性について検討し、子どもたちを取り巻く教育環境を整備する。また、小規模校における複式学級の解消のため、小学校の統廃合を進める。</p> <p>【実績】 平成27年4月1日から明浜小学校、新野村小学校、野村幼稚園がスタートした。城川地域においては、遊子川・土居・高川・魚成小学校の再編に向けて協議と調整を進め、平成28年4月1日に城川小学校として開校することとなった。また、宇和地域においては、唯一複式学級が生じている明間小学校の教育環境整備のため、皆田小学校との段階統合に向けて賛同を得られたため、両地区との協議を重ねた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 三瓶、明浜、野村地域に続き城川地域でも統合することが決定し、子どもたちの教育環境を整備することができた。 平成28年度は、宇和地域における小学校再編計画のうち、明間・皆田小学校の平成29年4月1日統合に向けて、再編推進委員会を組織し、諸課題について協議を進めていく。 また、宇和地域における今後の小学校再編を推進していくため、各小学校区で関係保護者や地域との懇談を行い、子どもたちの教育環境整備について意見を求めている。</p> | 57,884 | 教育総務課 |

(B表)

| 事務事業等 | ① | 学校・公立幼稚園の再編推進 | | |
|------------------|--|---------------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| スクールバス 維持管理事業 | <p>【事業内容】 遠距離通学となる児童生徒の通学に供するため、また、校外学習や各種教育活動等、より良い教育環境の整備を目的にスクールバスの運行を行う。</p> <p>【実績】 明浜小学校、野村小学校開校に伴い、新たにスクールバス9台を購入した。 市所有スクールバス18台、民間車両1台の計19台を運行した。 ○明浜小・中:各2台 ○野村小:7台 ○野村中:1台 ○城川中(魚成小):3台 ○三瓶小・中:各2台</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 スクールバスは、遠距離通学の児童生徒の安全・安心な通学を確保することを目的に整備したものであり、年間を通して適切な運行を行い、教育環境の整備向上に寄与することができた。 今後もより良い教育環境の構築に向け、校外学習や各種教育活動に対する利活用を図り、教育効果を高める施策を展開していく必要がある。</p> | | 82,925 | 教育総務課 |

(B表)

| 事務事業等 | ② | 校舎の改築及びICT設備の整備等 | | |
|-----------------|--|------------------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定あり (ITを活用した授業の割合) | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 小学校情報教育 振興事業 | <p>【事業内容】 市内小学校16校の教育用コンピューター及び教育情報ネットワークの整備更新及び維持を行う。</p> <p>【実績】 国が推し進める教育の情報化施策を考慮し、普通教室へのICT環境整備を推進するため、教職員を交えてICT関連機器充実のための検討を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 教職員を交えた教育のICT環境整備の検討の結果、普通教室におけるICT環境イメージが固まり、平成28年度の実環境整備に向けた予算を確保することができた。 今後は、平成28年度早期の実環境整備に向けて事務処理を進めるほか、ICT環境を生かしたよりよい教育活動について検討を進めたい。</p> | | 10,910 | 学校教育課 |

(B表)

| | | | | |
|-------------|---|------------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ② | 校舎の改築及びICT設備の整備等 | | |
| 成果指標 | 設定あり (ITを活用した授業の割合) | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 中学校情報教育振興事業 | <p>【事業内容】 市内中学校5校の教育用コンピューター及び教育情報ネットワークの整備更新及び維持を行う。</p> <p>【実績】 明浜中学校及び城川中学校のコンピューター教室機器(教員用パソコン3台及び生徒用パソコン60台等)の更新を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 平成27年度のコンピューター教室機器更新をもって、市内中学校においてセキュリティ上、不安要素となっていたWindowsXP環境のすべての更新が完了したほか、最新機器の導入ができたことにより情報教育環境が一層向上した。 今後は、平成28年度早期の普通教室へのICT環境整備に向けて事務処理を進めるほか、ICT環境を生かしたよりよい教育活動について検討を進めたい。</p> | | 8,747 | 学校教育課 |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値(A) | 目標値 | 実績値(B) | 増減 (B) - (A) |
|--------------|---------------------|--------|---|--------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| ITを活用した授業の割合 | | 6.06% | 7.00% | 7.90% | 1.84% |
| 達成状況 | A:達成に向けて予定どおり進行している | 分析・評価 | 小学校統廃合に伴い拠点校にICT機器が集約されたことにより、機器不足で停滞していたITを活用した授業の割合が増加したと思われる。今後は、普通教室等へのICT環境整備を進め、さらにITを活用した授業の割合を伸ばしていく。 | | |

(B表)

| 事務事業等 | ② | 校舎の改築及びICT設備の整備等 | | |
|-----------|--|------------------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 小学校施設修繕事業 | <p>【事業内容】 市内小学校16校の安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した施設の修繕を実施する。</p> <p>【実績】 老朽化等による不具合箇所の修繕を81件実施した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 不具合箇所の修繕を実施し、安全・安心な教育環境の整備に寄与することができた。 小学校施設は学校再編に伴い減少しており、平成28年度は13校、29年度は12校となる予定である。統合拠点校の施設整備は進んでいるが、30年以上経過した施設が多く、老朽化により大規模な改修が必要となっている。 今後、施設の老朽化に伴い修繕、改築に係る費用の増加が見込まれるが、施設点検を実施し、児童の安全確保はもとより、機能向上も視野に入れた中長期の整備計画の策定を進めることにより、施設の長寿命化を図るとともに、トータルコストの縮減に努めたい。</p> | | 18,591 | 教育総務課 |

(B表)

| 事務事業等 | ② | 校舎の改築及びICT設備の整備等 | | |
|-----------|---|------------------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 中学校施設修繕事業 | <p>【事業内容】 市内中学校5校の安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した施設の修繕を実施する。</p> <p>【実績】 老朽化等による不具合箇所の修繕を29件実施した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 不具合箇所の修繕を実施し、安全・安心な教育環境の整備に寄与することができた。 中学校施設の内、3校は30年以上経過しており、老朽化が深刻な問題となっている。 今後、施設の老朽化に伴い修繕、改築に係る費用の増加が見込まれるが、施設点検を実施し、生徒の安全確保はもとより、機能向上も視野に入れた中長期の整備計画の策定を進めることにより、施設の長寿命化を図るとともに、トータルコストの縮減に努めたい。</p> | | 8,162 | 教育総務課 |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|------|-----------------------|---------|---|---------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 耐震化率 | | 86.1% | 100.0% | 98.1% | 12.0% |
| 達成状況 | B：達成に向けて概ね予定どおり進行している | 分析・評価 | 平成24年度の基準値から、12.0ポイント上昇した。小学校の統合により校舎の改築も順調に進んだことにより、耐震化率が増加した。 | | |

重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(A表)

| | | |
|----------|-----|--|
| 施策 | (1) | 生涯学習の推進 |
| 評価 | | 概ね順調 |
| 評価に対する分析 | | 社会教育実態調査等から市教育委員会が提供する生涯学習及び公民館活動の回数は増加している。 これは、幼児、青少年、家庭、成人、婦人教育など様々な分野において主体的に学習できる場の提供と機会づくりに努めた結果と評価できる。 |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| 事務事業等 | ① | 生涯を通じた多様な学習機会の提供 | |
|---------|---|------------------|-------|
| 成果指標 | | 設定なし | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 成人式開催事業 | <p>【事業内容】 新成人に大人としての自覚と社会的責任を果たすことを促し、ふるさとを愛する心を育むために、成人式を開催する。</p> <p>【実績】 平成28年1月3日に実施した。 ・対象者数 403人（男性199人、女性204人） ・出席者数 323人（男性161人、女性162人） ・出席率80.1%</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 記念VTRの中に先生からのメッセージを入れたところ、実施したアンケートの意見の中に「良かった」と評価を得た。 今後も新成人がふるさとを愛し、参加しようと思える成人式になるよう努めていきたい。</p> | 852 | 生涯学習課 |

(A表)

| | | |
|----------|-----|--|
| 施策 | (2) | 公民館活動の推進 |
| 評価 | | 概ね順調 |
| 評価に対する分析 | | <p>市内には中央公民館と24の地区公民館があり、地域の実情に即した事業を計画的に実施し、参加者からは高い評価を得ている。公民館では地区住民主体の事業として、健康で明るい人づくり、地域づくり、教養講座、生活伝統文化、住民福祉の向上に寄与する活動や各種イベントによる地域住民の交流・活動が進み、地域の活性化につながっている。</p> <p>なお、地域を取り巻く社会環境が急速に変化するなか、公民館に求められる役割は大きく変化しており、地域によっては社会教育の域を超えて、地域づくりに積極的に関与することも求められるようになった。社会環境の変化に対応し、求められる役割を果たしていく施設への「転換の時期」にきている。</p> |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価
(B表)

| | | | | |
|-------------|---|--|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 地域と連携した公民館活動の充実 | | |
| 成果指標 | | 設定あり（公民館運営審議会開催回数） | | |
| 取組事業 | | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 公民館運営事業（明浜） | | <p>【事業内容】 明浜地区4つの公民館（田之浜・高山・狩江・俵津）では、生涯学習の拠点として各種団体・関係機関と連携し住民の自己学習と自治意識を高める社会教育を推進し、地域特性を活かした事業を実施する。 主な事業は次のとおり。 ○青少年教育 通学合宿、自転車キャンプ ○成人教育 粗大ごみ回収、山あるきんぐ教室、救急救命講習 ○婦人教育 ホウ酸団子づくり、廃油石鹸講習 ○家庭教育 人形劇鑑賞、子育てサロン金太郎 ○文化教育 産業文化祭、各地区芸能発表会、明浜俳句大会、明浜ふる里芸能祭 ○社会体育 ニュースポーツ大会、元旦走ろう会 ○総合教育 狩江地区教育研究大会、狩江みらい学校</p> <p>【実績】 4つの公民館において、それぞれ地域の特色を活かした各種講座やイベントを開催し、地域や学校との連携により生涯学習活動を幅広く展開した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 公民館は、地域住民が自分たちの手で自分たちの地域をより住みやすく快適に変えていくための活動の拠点となる施設である。 特に、明浜地区では人口の減少や少子高齢化が急速に進むなか、今後も更なる子育て支援や高齢者の地域課題の解決に向けた学習への取り組みが必要である。</p> | 1,454 | 明浜教育課 |

(B表)

| 事務事業等 | ① | 地域と連携した公民館活動の充実 | |
|-------------|--|-----------------|-------|
| 成果指標 | 設定あり（公民館運営審議会開催回数） | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 公民館運営事業（宇和） | <p>【事業内容】 宇和地区7つの公民館（多田・中川・石城・宇和・下宇和・田之筋・明間）におけるイベント事業及び公民館講座事業、中央公民館講座事業を実施する。各地区で住民の学習ニーズを把握し、地域の実情にあった学級・講座を開設し、乳幼児から高齢者まで幅広い学びの場を提供する。 主な事業は次のとおり。 ○青少年教育 わんぱくチャレンジスクール(キャンプ)、通学合宿、体験学習 ○成人教育 英会話、古典読書、各種趣味講座、スポーツ教室、ふる里探訪、健康教室 ○婦人教育 ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級、料理教室、レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙、手芸等） ○高齢者教育 クロッケー教室、料理教室、健康教室、手芸教室 ○家庭教育 料理教室、幼児交流会、遊びの広場、つながり学級（中学生保護者）、パパキャンプ ○人権・同和教育 各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会、草の根懇談会</p> <p>【実績】 それぞれの公民館が地域の特色を活かした活動を展開し、時代の要請に応える公民館活動が実施できた。 また、地域のニーズに応えた学びの機会が提供されており、学習の成果が地域活動につながった。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 今後も公民館運営審議会の評価を活かして、公民館事業の見直しを図るとともに、住民のニーズや地域課題の解決のための事業を実施する。 また、公民館で学んだことを地域に還元していく体制づくりの構築を進めていく。 限界集落問題や高齢化社会に直面した各地区の疲弊感は否めないが、地域リーダーを養成し地域の特性を生かした公民館活動の在り方を考えていく必要がある。</p> | 962 | 生涯学習課 |

(B表)

| 事務事業等 | ① | 地域と連携した公民館活動の充実 | | |
|-------------|--|-----------------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定あり（公民館運営審議会開催回数） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 公民館運営事業（野村） | <p>【事業内容】 野村地区6つの公民館（野村・溪筋・中筋・貝吹・横林・惣川）では、地域住民の社会教育・生涯学習の拠点として、イベント事業及び講座事業を通して、地域コミュニティづくりや関係機関・団体との連携を深め、地域の特色を活かした活力ある地域づくりを展開する。 主な事業は次のとおり。 ○地域づくり 地域づくり学習会、地域活性化団体との連携、ジュニアリーダーの育成、交付金事業 ○青少年教育 通学合宿、チャレンジ隊、N-ジオチャレ、アドベンチャースクール、西予の川を守ろう会との連携、魚つかみ大会、体験交流活動、自然体験活動 ○婦人教育 婦人学級、花いっぱい運動、ジオ学習 ○高齢者教育 健康づくり、クロッカー・グランドゴルフ大会、ノルディックウォーク、カラオケ交流会、しめ縄づくり交流会 ○文化教育 文化祭、史談会の協力・援助 ○人権・同和教育 人権のつどい「野村会場」、各小集落学習会、校区別人権・同和研修会、地域合同人権学習会 ○都市と農村交流事業 風の子農業小学校 ○生涯スポーツ 各種大会、のむらスポーツクラブ・ノルディック夢クラブとの連携、地区民運動会（溪筋・中筋・貝吹・横林地区）</p> <p>【実績】 小学校及び幼稚園の閉校・閉園により、地区単独による初の運動会を開催し、盛大に開催することができた。 校区別人権・同和教育懇談会については、野村小学校と地区公民館の連携により、野村小学校統合後初の「野村小学校区人権のつどい」を開催し、多数の参加があった。 公民館報で各講座やイベントの情報提供に努めた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 拠点施設である小学校が閉校したことで、地域の核となる公民館活動の実践、魅力ある公民館活動の展開や地域づくり交付金事業を活かした魅力ある地域づくりなど、住民と一体となった住民参加型の事業を推進する必要がある。</p> | | 1,410 | 野村教育課 |

(B表)

| 事務事業等 | ① | 地域と連携した公民館活動の充実 | | |
|-------------|---|-----------------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定あり（公民館運営審議会開催回数） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 公民館運営事業（城川） | <p>【事業内容】 城川地区4つの公民館（遊子川・土居・高川・魚成）では、生涯学習の拠点として、各種団体・関係機関と連携し、住民の自己学習と自治意識を高める社会教育を推進するとともに、地域の特性を生かした活力ある地域づくりを展開する。 主な事業は次のとおり。 ○青少年教育 愛護班活動、水生生物調査 ○成人教育 夜市、こいのぼり設置、門松設置、感謝祭 ○婦人教育 各種教室(体操・料理・陶芸・環境)、敬老会 ○高齢者教育 クロッケー大会、三世代交流、一日研修 ○家庭教育 ごみ分別学習会、ボカシづくり ○人権・同和教育 人権懇談会(校区別・地区別・団体別) ○文化教育 奥伊予盆踊り花火大会、木工教室 ○社会体育 運動会、レクバレー、クロッケー大会、駅伝 ○総合教育 地域PR映画上映、社会教育懇談会、避難訓練、公民館だより発行、年末大掃除 ○その他 都市住民との交流会、どんど焼き、地区合同歓迎会</p> <p>【実績】 社会教育の活動拠点施設として、地域住民の要望を取り入れた特色ある公民館活動を推進し、地域の活性化に寄与できた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 少子高齢化が急速に進むなか、各種講座・イベント等への参加者が減少傾向にあるため、事業のマンネリ化を見直し、住民のニーズに合った内容の精査を図る必要がある。 また、公民館が地域の拠点施設として求められる役割も高まってきており、地域づくり事業など地域の活性化につながるような住民参加型の魅力ある事業を推進する必要がある。</p> | | 557 | 城川教育課 |

(B表)

| | | | | |
|-------------|--|-----------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 地域と連携した公民館活動の充実 | | |
| 成果指標 | 設定あり（公民館運営審議会開催回数） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 公民館運営事業（三瓶） | <p>【事業内容】 三瓶地区3つの公民館（三瓶東・三瓶南・三瓶北）では、生涯学習の拠点として自発的・主体的に活動できるように育成・援助しながらイベント及び講座事業を実施する。 主な事業は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青少年教育 アドベンチャーみかめ、わんぱく学級、カルタ大会、書き初め大会、小学生バレーボール教室 ○成人・婦人学級 干支づくり、民謡踊り講習会 ○高齢者学級 クロッカー大会、健康教室、防災教室 ○社会体育 分館交流球技大会、バスケットボール（3on3）大会、レクバレー大会、健康ウォーク ○各種展示会 手作り作品展、絵手紙展覧会 <p>【実績】 既存事業を評価・点検し、内容を見直しながら実施するとともに、SNSを活用した情報発信に努めることにより、これまで参加が少なかった20代～40代の受講生・参加者が徐々にではあるが増加した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 参加が少なかった20代～40代が徐々にではあるが増加していることは、公民館の活動がより幅広い年代の方に認知されてきているものと思われる。今後も情報発信に努めるとともに、魅力ある講座・イベントづくりを実施する必要がある。</p> | | 987 | 三瓶教育課 |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値（A） | 目標値 | 実績値（B） | 増減 (B) - (A) |
|--------------|-----------------------|--------|--|--------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 公民館運営審議会開催回数 | | 2回 | 3回 | 2回 | 増減なし |
| 達成状況 | B：達成に向けて概ね予定どおり進行している | 分析・評価 | 市内の公民館24館は、年間2回の公民館運営審議会を開催している。団体連絡協議会等と同日開催の公民館もあり、計画どおり開催できている。 | | |

(B表)

| | | | | |
|----------------|--|----------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ② | 社会教育関係団体の育成と連携 | | |
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 社会教育団体 育成事業 | <p>【事業内容】 社会教育団体育成のため、運営経費の一部を補助金として交付する。</p> <p>【実績】 PTA、愛護班、女性団体連絡協議会、壮年会、婦人会、ボーイスカウト、西予市国際交流協会、青年団、三瓶町幼児教育振興協議会、野村町若葉会連絡協議会の10団体に補助金を交付した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 どの団体においても会員の減少及び活動の低迷が課題となっているため、団体の活動を多くの方に知ってもらい一緒に参加していただけるように取り組む必要がある。 今後は社会教育団体が中心となり、社会教育の活動支援を行い、青少年の健全育成や地域の活性化に繋げたい。</p> | | 7,457 | 生涯学習課 |

(A表)

| | | |
|----------|---|-----------------|
| 施策 | (3) | 心豊かでたくましい青少年の育成 |
| 評価 | 概ね順調 | |
| 評価に対する分析 | <p>青少年関係機関・団体等の中で、いじめや非行状況などの問題解決に向け情報交換や協議を行い、いじめや非行の未然防止ができています。また、市青少年育成協議会が中心となり、市民総ぐるみで「あいさつ運動」を展開している。</p> <p>家庭、地域、学校、行政の連携を深め、青少年の非行防止、健全育成への取り組みを推進することで、心豊かでたくましい青少年育成につながっている。</p> | |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|-------------|---|--------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 青少年健全育成体制の強化 | | |
| 成果指標 | 設定あり (街頭補導回数) | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 市青少年補導員活動事業 | <p>【事業内容】 青少年補導員は補導委員会を組織し、定期的な街頭補導活動や各地区のお祭りや行事で移動補導センターの開設等を行う。</p> <p>【実績】 警察、学校関係機関と連携して実施したことにより補導実績はなかった。 ○街頭補導活動…142回 ○出動補導員数…延べ387人 ○移動補導センター開設…18回 ○声かけ指導した青少年数…24人 また、補導員の資質向上のため、視察研修の実施（西条刑務支所）や県補導委員会連絡協議会、補導センター連絡協議会に参加した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 引き続き、お祭りや行事での補導活動等を定期的実施する。表面化しにくいインターネット環境に起因する課題への対処方法について、理解、学習を深める必要がある。 ※平成28年度からは「青少年補導センター運営事業」に一本化する。</p> | | 1,332 | 生涯学習課 |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|--------|-----------------------|---------|--------|---|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 街頭補導回数 | | 130回 | 130回 | 142回 | 12回 |
| 達成状況 | B：達成に向けて概ね予定どおり進行している | 分析・評価 | | <p>青少年を取り巻く環境は情報化社会となり、いじめや非行の引き金は多様化している。</p> <p>街頭補導では青少年への声かけやあいさつを行い非行を未然に防ぐことに有効である。</p> | |

(B表)

| | | | | |
|---------------|--|--------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 青少年健全育成体制の強化 | | |
| 成果指標 | 設定あり（移動補導センター回数） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 青少年補導センター運営事業 | <p>【事業内容】 補導委員を71人委嘱して、青少年問題を取り扱う関係団体等と連携しながら、お祭りや行事には移動補導センターを開設し青少年の非行・被害防止に努めている。</p> <p>【実績】 補導センター連絡協議会の中四国大会、全国大会等各種研修に参加し、青少年問題の全国的な状況、対策方法について学ぶことができた。 ○移動補導センター開設…18回</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 スマートフォン、SNSの急速な普及により、青少年を取り巻く環境は複雑多様化してきている。最新の情報を収集し、日々の補導活動等に活かしていくため、今後も研修会等に参加に努めたい。</p> | | 187 | 生涯学習課 |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|------------|-----------------------|---------|--|---------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 移動補導センター回数 | | 20回 | 20回 | 18回 | -2回 |
| 達成状況 | B：達成に向けて概ね予定どおり進行している | 分析・評価 | 青少年を取り巻く環境は情報化社会となり、いじめや非行の引き金は多様化している。 移動補導センターでは地域のお祭りや行事での青少年への声かけや非行を未然に防ぐことに有効である。 | | |

(A表)

| | | |
|----------|--|------------|
| 施策 | (4) | 人権・同和教育の推進 |
| 評価 | 概ね順調 | |
| 評価に対する分析 | 人権・同和教育の推進のために、地区別懇談会や講座等の事業を開催し身近な人権問題を取り上げ学習を進めてきた。また、人権問題を自分のこととしてとらえるためには、まず学習会に参加することが大切であることを発信してきた。今後も学習会や講演会等を開催し、多くの市民が高い人権意識を持てるよう取り組む必要がある。 | |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|---------------|---|-----------------|-------------|------------|
| 事務事業等 | ① | 学習機会の拡充と啓発活動の充実 | | |
| 成果指標 | 設定あり（地区別人権・同和教育懇談会開催回数） | | | |
| | 設定あり（人権・同和教育に関する講座等の開催） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 地区別人権・教育懇談会事業 | <p>【事業内容】 市内各地区の推進講師や推進員が、社会教育指導員から指導者研修を受けた後、地区ごとに推進講師や推進員が中心となって地域住民を対象として、様々な人権問題について学習会を開催する。</p> <p>【実績】 市内各地区で、地域住民が人権に関するDVDを視聴し、人権問題について意見交換を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 学習会を毎年開催している地区とそうでない地区があり、継続して開催していくためには、指導者の育成が不可欠である。また市民が人権問題に対して、理解を示すような学習会の内容を市で統一感を持って立案していく必要がある。</p> | | 965 | 生涯学習課・各教育課 |

(C表)

| 成果指標 | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|-------------------|-----------------------|--------|--|-----------------|
| | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 地区別人権・同和教育懇談会開催回数 | 154回 | 154回 | 156回 | 2回 |
| 達成状況 | B:達成に向けて概ね予定どおり進行している | 分析・評価 | 毎年、同じような内容で学習会を開催するのではなく、学習テーマを決めて開催するなど工夫をした取組が必要である。 | |

(B表)

| | | | | |
|--------------|--|----------------------|-------------|-------------------|
| 事務事業等 | ③ | 豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実 | | |
| 成果指標 | 設定あり（人権・同和教育に関する講座等の開催） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 人権のつどい 事業 | <p>【事業内容】 人権意識を高め、人権問題への関心を深めるため、市内3か所（宇和、野村、城川）で「西予市人権のつどい」を実施している。なお、宇和会場と野村会場は、人権啓発地方委託事業（法務省）を受け実施している。対象者は、行政、団体、企業関係者等を中心に全市民とし、講演会を開催する。</p> <p>【実績】 ○宇和会場 6月20日 講師：藤原一章 氏（香川県土庄中学校教頭） 演題：「子どもが語れば 大人が変わる」 ～じぶんが好き なかまが好き 故郷が好き～ 会場：宇和文化会館 参加者：約600人 ○野村会場 6月28日 講師：桂福車 氏（落語家） 演題：「差別って何やねん」 ～人の心の奥底にあるもの～ 会場：乙亥会館アリーナ 参加者：160人 ○城川会場 7月4日 講師：切磋亭琢磨 氏（社会人落語家） 演題：「笑って考えよう日常の中にある人権問題」 会場：城川中学校 参加者：207人</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 宇和会場におけるアンケートの結果、「人権に対する思いの深まり」では、「深まった」が63.1%、「今後も行うべきか」では、「行うべき」が90.3%であった。また、「一部の人が活動しているイメージがあるので、色々な形で市民全体で取り組めたらよい」という意見もあり、今後は市全体での開催を検討する必要がある。</p> | | 632 | 生涯学習課・野村教育課・城川教育課 |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|-------------------|-----------------------|---------|--------|---------|--|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 人権・同和教育に関する講座等の開催 | | 111回 | 90回 | 93回 | -18回 |
| 達成状況 | B：達成に向けて概ね予定どおり進行している | 分析・評価 | | | 校区別では学校ごとに特色ある学習会が開催されているが、小学校の統合により減少している。学習会の参加者や学習機会を増加させるために地域と学校が連携を図り、参加する年齢層の拡大や参加意欲を高めるような取組を目指す必要がある。 |

(A表)

| | | |
|----------|-----|--|
| 施策 | (5) | 図書館活動の充実 |
| 評価 | | 概ね順調 |
| 評価に対する分析 | | 図書貸出し人数は減少したが来館者は増えている。全国的にも、平成22年度をピークにこの傾向がみられることから、少子化の影響も大きい。本を借りる以外の目的で図書館を訪れる人が増えたことが一因と考えられる。資料の充実は言うまでもなく、自習スペースの拡充やネット環境の整備など、図書貸出し以外の機能を加わえることにより、図書館へ足を運びたいとなる環境整備が必要である。 |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価
(B表)

| | | | | |
|---------------|---|---|-------------|-------|
| 事務事業等 | ② | サービス充実による読書人口の増加 | | |
| 成果指標 | | 設定あり（利用者数（図書を借りた人数）） | | |
| 取組事業 | | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 図書館電算システム管理事業 | | <p>【事業内容】 図書館電算システムの導入によって、全9館のデータ（所蔵資料、蔵書管理、貸出管理、統計等）を把握し図書館業務の効率化を図る。</p> <p>【実績】 システムのバージョンアップを行ったことで、さらに安定性、利便性の向上が図れた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 図書館電算システムの導入により、所蔵図書の検索が容易になり、利用者のネットでの予約が増えている。また、レファレンスサービスにおいても、窓口端末で検索が可能となり、気軽に蔵書の有無を確認することができるようになった。今後も利用者への利便性を向上させて、利用者数の増加につなげたい。</p> | 1,511 | 生涯学習課 |

(B表)

| | | | | |
|-----------|---|------------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ② | サービス充実による読書人口の増加 | | |
| 成果指標 | 設定あり（利用者数（図書を借りた人数）） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| ブックスタート事業 | <p>【事業内容】 ブックスタートは、0歳児(4か月)健診の機会に、「絵本」をプレゼントする事業である。赤ちゃんと保護者が、絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける。また、3歳児健診時には、絵本をプレゼント(6種類から1冊)、小学1年生には全9館の蔵書の中から、おすすめの読本を紹介したリーフレットを配布する。</p> <p>【実績】 健康づくり推進課等の協力もあり0歳児、3歳児、小学1年生を対象とした取組が実施できた。0歳児211人、3歳児246人、小学1年生211人に配布した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 関係各課(健康づくり推進課・支所生活福祉課・学校教育課)との連携が取れ、絵本等を通じた家庭教育のきっかけとなっている。今後は、本に親しむ機会の増加につながるよう努めたい。</p> | | 692 | 生涯学習課 |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|----------------|-----------------------|---------|--|---------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 利用者数（図書を借りた人数） | | 43,801人 | 48,000人 | 37,877人 | -5,924人 |
| 達成状況 | B：達成に向けて概ね予定どおり進行している | 分析・評価 | 利用者数は減少したが、野村分館の開館により新たな図書館利用者が増加している。 サービスが向上すればするほど利用者からの要求は質量ともに増加している現状である。そのニーズに応えられるよう業務の見直しや環境整備を行っていく必要がある。 | | |

重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(A表)

| | | |
|----------|-----|--|
| 施策 | (1) | 文化財の保護と活用 |
| 評価 | | 順調 |
| 評価に対する分析 | | 平成26年度から200件を超える市指定文化財の再評価、分布調査による包蔵地の把握などを通して今後の文化財行政の基盤整備を進めている。同時に文化財の魅力を伝える取組を行っている。現在、文化財に親しむ人の割合は安定して高いが、積極的に文化財の持つ魅力を広く伝えることで、市民の文化財に対する意識をさらに高めるとともに、文化財を地域づくりに活かせるよう取り組みたい。 |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価
(B表)

| | | | | |
|-----------|---|--|-------------|---------------------|
| 事務事業等 | ① | 文化財・文化遺産の保護と活用 | | |
| 成果指標 | | 設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合） | | |
| 取組事業 | | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 文化財保護推進事業 | | <p>【事業内容】 市内の指定文化財や指定候補物件の専門的調査を通して、文化財の再評価を行うとともに新たな文化財の発掘に努め、文化財の保護、活用を進める。</p> <p>【実績】 平成26年度に続き、有形文化財（美術工芸品）等を、奈良国立博物館上席研究員の協力を得て彫刻の調査を実施したほか、市教委職員が考古資料の調査を実施した。また、27年度は城川町の下遊子茶堂の茅葺替えを行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 引き続き専門家の協力を得ながら調査を実施する。あわせて、文化財の見直しの方向性を文化財保護審議会等で議論しながら検討する。また、文化財に対する補助金の在り方についても検討していく必要がある。</p> | 1,317 | 文化 体育 振興 課 |

(B表)

| | | | | |
|-------------|--|----------------|-------------|--------|
| 事務事業等 | ① | 文化財・文化遺産の保護と活用 | | |
| 成果指標 | 設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 埋蔵文化財発掘調査事業 | <p>【事業内容】 市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）により埋蔵文化財包蔵地の把握と周知に努め、埋蔵文化財保護の基盤を整備する。周知の埋蔵文化財包蔵地における開発への対応を行う。また、坪栗遺跡（宇和町山田）出土遺物の整理作業を進める。</p> <p>【実績】 分布調査を実施し、明浜町で1件新規の埋蔵文化財包蔵地を確認するとともに、城川町の包蔵地地図を刊行した。整理作業は、分布調査と坪栗遺跡出土遺物の整理を行った。開発対応では、宇和町坂戸で1件、住宅建設に伴う試掘調査を実施した。 また、「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産化の動きの中で、八幡浜街道（笠置峠）の国史跡指定を目指し、測量委託と石造物調査を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 国庫補助を活用して詳細分布調査を進め、明浜町、三瓶町の分布図を作成するとともに、平成27～28年度の報告書を作成する。包蔵地における開発事業の対応を通じて、埋蔵文化財の破壊を未然に防ぎたい。そのほか歴史の道調査では、大寶寺道（明石寺～宇和聾学校前）の測量調査を行い指定を目指したい。</p> | | 12,999 | 文化体育振興 |



八幡浜街道（笠置峠）石造物拓本調査



詳細分布調査（ハシロリ遺跡（明浜町狩浜））

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|--------------------|----------------------|---------|--------|--|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 文化財を見に行ったことのある人の割合 | | 70.9% | 75.0% | - | - |
| 達成状況 | A: 達成に向けて予定どおり進行している | 分析・評価 | | 平成27年度は、まちづくりアンケートを実施していないため、文化財を見に行ったことのある人の割合は確認できないが、多岐にわたる歴史文化講演会を8回開催したところ、多くの市民参加があったことから文化財に関する関心の高さがうかがえる。 | |

(B表)

| 事務事業等 | ② | 文化財の継承と次世代を担う人材の育成 | | |
|----------|---|--------------------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 俵津文楽育成事業 | <p>【事業内容】 愛媛県指定無形有形文化財である俵津文楽の保存伝承活動の支援をする。</p> <p>【実績】 実績は以下のとおりである。 ○第56回愛媛県指定無形民俗文化財文楽合同公演大会 ○野福峠さくらまつり公演 ○第57回中国・四国ブロック民俗芸能大会（愛媛県代表） ○明浜中学校文楽指導 ○明浜小学校文楽教室 ○俵津保育所文楽教室 ○文楽人形展示（俵津地区産業文化祭）</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 愛媛県最古の文楽がこの地にあることが地域の活性化につながり、地域も座員も伝統文化の保存伝承に対する意識が根付いている。今後は若手後継者確保に努めるとともに、小学生を対象とした定期的な人形遣いの指導をしていきたい。</p> | | 341 | 明浜教育課 |



第57回中国・四国ブロック民俗芸能大会

(B表)

| | | | |
|-----------|--|--------------------|-------------|
| 事務事業等 | ② | 文化財の継承と次世代を担う人材の育成 | |
| 成果指標 | 設定なし | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) |
| 渡江盆踊り保存事業 | <p>【事業内容】 市指定民俗文化財である渡江盆踊りの保存伝承活動の支援をする。</p> <p>【実績】 毎年8月14日に盆踊り大会を開催している。同月に老人ホームの慰問も実施している。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 江戸時代に始まり、あでやかな衣装により歌舞伎の名場面を舞うこの盆踊りは後継者不足が最大の課題である。踊りの入門教室や公募により踊り手を確保していく必要がある。</p> | | 63 |
| | | | 担当課 |
| | | | 明浜教育課 |



忠臣蔵



車引

(B表)

| | | | |
|--------------|--|--------------------|-------------|
| 事務事業等 | ② | 文化財の継承と次世代を担う人材の育成 | |
| 成果指標 | 設定なし | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) |
| 朝日文楽保存伝承活動事業 | <p>【事業内容】 伝統芸能の保存伝承を行い、年間を通しての練習、定期公演や出前講演を行っている。同時に人形・衣裳等の管理、保存、修理も行う。</p> <p>【実績】 こども朝日文楽クラブ、三瓶高等学校文楽部の指導による後継者育成により、若い後継者が増えつつある。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 人形、衣裳等の修繕も必要であり、その修繕料が負担になっている。一方で、三瓶文化会館の分館として「八段返し」や「大臣」等を備えた文楽公演も可能な朝立会館を整備したことから、保存会、文楽会とともに組織体制の強化やサポート体制の構築、会員確保を図ることで後継者の育成、指導が必要である。</p> | | 590 |
| | | | 担当課 |
| | | | 三瓶教育課 |

(A表)

| | | |
|----------|--|-------|
| 施策 | (2) | 文化の振興 |
| 評価 | 概ね順調 | |
| 評価に対する分析 | <p>伝統芸能をはじめとする文化活動の取組は、高齢化や後継者不足など直面する課題は多いが、一方でこれまで行政主体で進められてきた取組は、実行委員会形式等で自分たちが主体的に関わる意識が芽生えてきた。今後は、市民が幅広く文化に親しむことができるような環境を充実させていくことに努めたい。</p> | |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|---------------------|---|-------------------|-------------|---------|
| 事務事業等 | ① | 文化の継承、次世代を担う人材の育成 | | |
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 開智・開明学校姉妹館交流青少年派遣事業 | <p>【事業内容】 旧開智学校と開明学校の姉妹館提携を記念して、市内の中学2年生20人（各校代表）が松本市を訪問し、松本市の中学生との交流を深めるとともに、西予市にない文化や自然に触れる体験をする。</p> <p>【実績】 8月3日から7日の4泊5日の日程で青少年派遣事業を実施した。中学生同士の交流と親睦を図るとともに、松本市の教育や文化に触れた。上高地や乗鞍高原での自然体験及び塩尻市の重要伝統的建造物群保存地区の町並み保存研修を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 松本市の教育や文化に触れ、見識を深め、中学生同士の交流を行うことにより、豊かで創造的な青少年の育成を図ることができた。しかし、よりよい中学生同士の交流とするため、内容や交流時間の延長について両市が今後も協議を進める必要がある。</p> | | 1,000 | 文化体育振興課 |

(B表)

| | | | | |
|---------|---|-------------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 文化の継承、次世代を担う人材の育成 | | |
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 塔和子顕彰事業 | <p>【事業内容】 13歳で社会や家族と隔離されたハンセン病療養所に入所し、1,000編にものぼる詩作を通してハンセン病問題や社会のあり方、人間のあり方・生き方について訴え続けた塔和子さんを市民とともに顕彰する。</p> <p>【実績】 ①国立療養所「大島青松園」訪問（7月30日） ②中学生が選んだ塔和子さんの詩感想文集の発行 1回 ③塔和子移動展の開催（大洲市役所ロビー）（8月13日～31日）</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 夏休み中に開催した大島青松園訪問事業に小学生3人、中学生14人を含む市民47人の参加があった。入所者の体験談や現在も入所中である西予市出身者との交流により、塔和子さんをはじめ入所者の方々が背負ってこられた苦しみや差別解消への闘いに共感できたものと思われる。 この事業は次年度以降も継続し、少人数でも小中学生にも見聞を広げていってもらうとともに、ハンセン病を患った人たちに対する国の施策や依然として残る偏見・差別に基づく人権侵害について、人権教育で学んでいく。</p> | | 120 | 明浜教育課 |



大島青松園 モニュメント「風の舞」

(B表)

| | | | | |
|-------------|--|--------------|-------------|--------|
| 事務事業等 | ② | 芸術文化、生活文化の振興 | | |
| 成果指標 | 設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| ふるさと芸能祭補助事業 | <p>【事業内容】 西予市文化協会宇和支部に加盟する団体で組織する実行委員会の主催で、宇和地区の舞台芸術、伝統芸能の発表を行うほか、体験教室を実施する。</p> <p>【実績】 10月31日に郷内七福神踊りとフラダンスの体験教室を実施し、96人の参加があった。11月1日には芸能祭を実施し、17団体が発表を行い、約250人の来場者があった。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 平成26年度の課題として、①若い世代の参加増、②観覧者が求める発表、③市民への文化の魅力発信を挙げていた。①と③に対応するため、平成27年度は、新たに体験教室を実施した。参加者層は子どもから高齢者まで多岐にわたり、体験と団体との交流を通じて文化振興に寄与することができた。②について、芸能祭の幕間に文化協会以外の団体に出演いただいた。今後は、若い世代の参加、宇和地区以外の団体の参加や交流、文化協会以外の団体の出演等により、来場者を増やすよう努める。</p> | | 442 | 文化体育振興 |



体験教室（郷内七福神踊り）



宇和町ふるさと芸能祭（宇和町大正琴愛好会）

(B表)

| | | | | |
|--------------|---|--------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ② | 芸術文化、生活文化の振興 | | |
| 成果指標 | 設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 奥伊予ふるさと祭補助事業 | <p>【事業内容】 毎年11月第2土曜日・日曜日の2日間にわたり開催する「奥伊予ふるさと祭」は、城川地域の年に1度の産業祭と文化祭を合わせたイベントである。産業と文化振興により地域の活性化を図るとともに、市民の生きがいを目的としている。</p> <p>【実績】 奥伊予ふるさと祭実行委員会の構成団体数は、前年度より1団体多い28団体になり広がりを見せている。文化展のメイン会場である総合センターしろかわでの催し物は、1日目が初めての開催となる「奥伊予カラオケフェスタ2015」を、2日目は文化協会城川支部加入団体の発表会を行った。また、産業展や各種団体による特色ある展示や多彩なイベントを開催した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 48回継続してきた城川地域の一大イベントであるが、少子高齢化などにより来場者数が減少傾向にある。しかし、関係団体がマンネリ化しないよう毎年工夫を凝らした展示や催し物に取り組んでいる。従来の2日間の開催を1日間に集約したらという意見も根強いが、実施団体が消極的になることは祭りが悪循環に陥ることにつながることから、今後も慎重な協議・検討が必要である。</p> | | 700 | 城川教育課 |



奥伊予カラオケフェスタ2015



文化協会芸能発表会（舞踊）

(B表)

| | | | | |
|-------------|---|--------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ② | 芸術文化、生活文化の振興 | | |
| 成果指標 | 設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 宮中雲子音楽祭補助事業 | <p>【事業内容】 平成10年度から市出身の詩人宮中雲子先生の第8回佐藤ハチロー賞受賞を記念して、合唱コンクールとして開催し平成27年度で18回目を数える。コンクール部門（少年少女の部・一般の部）及びフェスティバル部門（無審査、講評有）で構成し、市内外からの参加者を募っている。</p> <p>【実績】 市内外の高いレベルの団体の参加により、本市の音楽レベルの向上と豊かな心の醸成が図れるとともに、市内外で人気のある音楽祭となっている。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 市内外で人気のある音楽祭となっており、その場を市が提供しているということで、市のイメージアップに繋がっている。しかし、市内の参加団体が少ないため、市内から参加いただく団体を増やす工夫が必要である。</p> | | 2,100 | 三瓶教育課 |

(B表)

| | | | |
|----------------|---|--------------|-------|
| 事務事業等 | ② | 芸術文化、生活文化の振興 | |
| 成果指標 | 設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合） | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 全国かまぼこ板の絵展覧会事業 | <p>【事業内容】 全国にかまぼこ板に描いた絵を公募し、応募のあった作品から入選作品を選考するとともに、全国「かまぼこ板の絵」展覧会をギャラリーしろかわで開催。応募のあった全作品を館内に展示する。</p> <p>【実績】 全国47都道府県及び海外からはネパール、台湾から応募があった。15,133人から8,005点の作品が寄せられた。 7月18日から12月6日までの期間中、入館者は8,584人だった。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 応募点数が4年続けて減少傾向にある。高齢化による応募常連者の不参加も一要因と考えられるが、事業自体も回数を重ね21回目となり、転換期を迎えている。 今までの歴史や常連応募者の方とのつながりを大切にするのはもとより、大学サークルへの応募呼びかけやジュニア大賞・中高生大賞の創設による若い世代へのアプローチ、新たな審査員の模索等、事業の展開に着手している。 また、「かまぼこ板の絵」が市民に愛され誇れる文化のひとつとして普及し継承されるように、市内小中学校への応募参加呼びかけや、市内各種イベントとの連携に積極的に取り組んでいく。</p> | 14,240 | 城川教育課 |



第21回全国「かまぼこ板の絵」展覧会

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|----------------------|-----------------------|---------|---|---------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合 | | 17.9% | 20.0% | - | - |
| 達成状況 | C : 達成に向けて予定よりやや遅れている | 分析・評価 | 平成27年度は、まちづくりアンケートを実施していないため、芸術文化活動に取り組んでいる市民の割合は確認できないが、ここ数年17%前後で推移し安定していると思われる。新たな世代の参加を促す工夫や取組が必要である。 | | |

(A表)

| | | |
|----------|-----|--|
| 施策 | (3) | 文化活動の環境と基盤の整備 |
| 評価 | | 順調 |
| 評価に対する分析 | | 文化活動施設の整備・充実として、宇和文化会館の自動ドアや屋外トイレの屋根改修を行った。改修により利用者が安心して文化活動に取り組める環境が整うことで、施設の利便性が高まり、利用者の増加につながると思われる。今後も文化施設等の改修計画を立て緊急性の高いところから整備を進めていく必要がある。 |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|------------------|---|--|-------------|---------------------|
| 事務事業等 | ① | 文化施設の整備・充実 | | |
| 成果指標 | | 設定あり（施設や展示物の満足度） | | |
| 取組事業 | | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 宇和文化会館 管理運営事業 | | <p>【事業内容】 平成3年12月に開館後、財団法人宇和文化会館が管理受諾、平成18度からの指定管理者制度移行後も、同法人が引き続き（平成24年度途中に一般財団法人に移行）管理しており、現在4度目の更新中である。この指定管理者に対して、会館管理運営委託料及び施設の大規模改修に伴う費用の支出を行う。</p> <p>【実績】 正面玄関の自動ドア改修や屋外トイレの改修を実施し、施設の環境が整備された。今後は定期点検報告に基づき、緊急性の高いものから改修を行う。 当会館では8つの自主事業と、4つの共催事業を実施し、8,962人を集客できた。貸館利用回数は年間857件、36,015人が利用した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 施設整備は進んでおり、利用者の利便性は高まっている。文化事業も鑑賞型をはじめ、市民参加型事業も積極的に展開し定着している。平成28～29年度にトイレの洋式化改修を行い、今後は定期点検報告による緊急性の高いものから改修し、より安全・安心を確保しながら利用者の増加につなげたい。</p> | 36,041 | 文化 体育 振興 課 |

(B表)

| 事務事業等 | ① | 文化施設の整備・充実 | | |
|-----------------|---|------------|-------------|-------|
| 成果指標 | 設定あり（施設や展示物の満足度） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| ギャラリーしろかわ管理運営事業 | <p>【事業内容】 ギャラリーしろかわの施設の管理運営及びかまぼこ板の絵展覧会開催期間を除く、企画展等の運営を行う。</p> <p>【実績】 年間入館者は11,025人であった。 かまぼこ板の絵展覧会以外の企画展の充実を目的とし、かまぼこ板の絵展覧会にて審査員を務める洋画家 折笠勝之氏、日本画家 伊東正次氏の展覧会を行った。 また、松山市子規記念博物館との企画展（子規の俳句とかまぼこ板の絵コラボ展）、市内公民館、病院等で出張展示を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 普段なかなか目にする事の難しい一流の芸術作品を企画展にて展示することで、市内の芸術文化の向上の一助となっている。 新たな取組として松山市子規記念博物館とのコラボ展を行い、観光客の多い松山市道後地区での展示により、市外、県外の多くの方に「かまぼこ板の絵」の認知度が上昇した。また、市内においてもかまぼこ板の絵の出張展示を積極的に行い、コラボ展と合わせて、新規応募者の増加に寄与する活動ができた。 今後もかまぼこ板の絵展覧会だけでなく、企画展も含めた年間の展示内容を充実させていく必要がある。</p> | | 14,642 | 城川教育課 |



松山市子規記念博物館とのコラボ展



折笠勝之・田代文子二人展 道化師と魚

(B表)

| | | | | |
|------------------|--|------------|-------------|-------|
| 事務事業等 | ① | 文化施設の整備・充実 | | |
| 成果指標 | 設定あり（施設や展示物の満足度） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 三瓶文化会館 管理運営事業 | <p>【事業内容】 三瓶文化会館の維持管理及び運営を行う。</p> <p>【実績】 年間利用者は延べ24,694人であった。 コンサート、生涯学習教室、各種イベント、図書館、プラネタリウム等多数の市民の方が利用した。多種多様なイベントを企画し地域住民の文化交流の場にふさわしい維持管理に努めた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 開館から25年以上が経過し、年々利用者は減少傾向にあるが、修繕など維持経費が増加傾向にある。今後も市民に安全・安心に利用してもらえよう計画的に優先順位をつけ修繕を行う必要がある。</p> | | 17,779 | 三瓶教育課 |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|------------|---------------------|---------|---|---------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 施設や展示物の満足度 | | 23.8% | 25.0% | - | - |
| 達成状況 | A：達成に向けて予定どおり進行している | 分析・評価 | 平成27年度は、まちづくりアンケートを実施していないため、施設や展示物の満足度は確認できないが、事業内容の精査や利便性の向上に努め、利用者の満足度を高める工夫や努力も必要である。 | | |

(A表)

| | | |
|----------|-----|---|
| 施策 | (4) | 西予市の特色を生かした文化施策の推進 |
| 評価 | | 概ね順調 |
| 評価に対する分析 | | 古墳等を拠点とし遺跡を活用した事業を積極的に展開できているが、遺跡や考古資料を活用した拠点となる展示施設が無いことは大きな課題である。また、重要伝統的建造物群に選定された卯之町の町並み保存については、計画に基づいた建造物の整備は順調だが、地区住民の機運醸成は今後の課題である。今年度から重要文化的景観の選定に向けた「狩浜の段々畑と宇和海の文化的景観」に取り組んでおり今後、選定された後には、西予市全体として遺跡や町並みなどの特色を生かし、四国西予ジオパーク構想と連携した取組を進める必要がある。 |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価
(B表)

| | | | | |
|-------------|--|--------------|-------------|---------|
| 事務事業等 | ① | 古代ロマンの里構想の推進 | | |
| 成果指標 | 設定あり（古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 古代ロマンの里推進事業 | <p>【事業内容】 「古代ロマンの里整備活用基本計画」に基づき構想を推進する。また、愛媛県の歴史の道調査や詳細構想に基づく笠置街道の保護や周辺の文化財の把握、総合的な活用に努める。</p> <p>【実績】 歴史の道調査をともに行っている八幡浜市と共催で駅からウォークを開催した。また、歴史文化講演会で考古関連の講演会を行った。（第5回：柴田昌児氏「西予古代人、船に乗り、海を渡る。」、第7回：日和佐宣正氏「山城が語る地域の歴史」、第8回：高瀬哲郎氏「石積み・石垣が語る郷土の歴史と風景」 合計3回の参加者159人） 岐阜県大垣市主催の全国古墳サミットに参加し、本市における遺跡の整備と活用の取り組みを市長が報告した。なお、考古学研究会からの依頼により、同サミットの様子を会誌「考古学研究」で報告した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 笠置峠古墳の調査報告書が未刊であり、平成28年度に刊行を予定している。刊行後は、記念シンポジウムを実施するとともに報告書の内容をわかりやすく周知し、遺跡の整備や案内に反映させていく必要がある。</p> | | 557 | 文化体育振興課 |



駅からウォーク

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|---|-----------------------|---------|--|---------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合 | | 71.8% | 75.0% | - | - |
| 達成状況 | B：達成に向けて概ね予定どおり進行している | 分析・評価 | 平成27年度は、まちづくりアンケートを実施していないため、古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合は確認できないが、ここ数年71%前後で推移し安定していると思われる。駅からウォークが好評であることや埋蔵文化財を活用した事業を望む声が多いことから、今後も遺跡等を活用した取組が必要である。 | | |

(B表)

| 事務事業等 | ③ | 四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 | |
|-------------|---|-----------------------|---------------------|
| 成果指標 | 設定なし | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 文化的景観保護推進事業 | <p>【事業内容】 「狩浜の段々畑と宇和海の文化的景観」を西予市文化的景観調査委員会指導の下、歴史、自然、生活、生業の観点から調査を実施し、文化的景観調査報告書の作成、保存計画及び景観計画を策定、国の重要文化的景観の選定の申し出を行う。</p> <p>平成27年度：文化的景観調査委員会の設置、景観調査の実施 平成28年度：景観調査の実施、調査報告書の作成 平成29年度：保存計画策定委員会の設置、保存計画の策定、景観計画の策定、所有者の同意、重要文化的景観の選定の申し出</p> <p>【実績】 平成27年4月市文化的景観調査委員会の設置（委員8名） ○調査委員会開催数：3回 ○ワークショップ開催数：2回 ○海エリア スキンダイビングによる目視と定置網、底引き網により捕獲された生物の調査を行い、11目52科84種の魚種の生息が確認された。また、チリメン漁業者2人から漁業経営について聞き取りを行なった。 ○里エリア 建築物（882件）の構成とその変遷や使われ方に関するもの、浜辺・集落・畑地・山林にわたる狩浜地区の空間の構成に関するもの、祭礼時の空間の使われ方の3点について調査を行なった。 ○山エリア 明浜町内の石垣の石材の種類及び積み方について、各地区（狩浜・高山・宮野浦・渡江）の特色及び狩浜地区の石積みに着生する地衣類について調査した。狩浜本浦の段々畑の形成について、明治期の畝順帳（せじゅんちょう）と現在の比較、石垣化の必要性、石垣づくりの手段、棚田の分布状況などについて調査した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 調査は、委員の先生方の熱心な取組に対し、地域全体が協力的であり、効率よく効果的に進めることができた。平成28年度は本事業の受け皿組織として狩浜地区文化的景観協議会が設立される予定であり、さらに委員会と地元との連携がスムーズになるものと思われる。 しかし本事業は、総合的かつ専門性が高く、調査量も膨大になることと、あわせて景観計画を策定する必要もあるため、その取りまとめが課題となっている。 今後、「狩浜の段々畑と宇和海の文化的景観」の国の重要文化的景観の選定に向け、景観に関する学術調査報告書の作成、保存計画書・景観計画書の作成、景観条例の制定など国へ選定申し出を行う過程において、文化的景観事業に精通した業者に業務の委託を検討していく予定である。</p> | 5,236 | 文化 体育 振興 課 |

重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

(A表)

| | | |
|----------|--|---------|
| 施策 | (1) | スポーツの振興 |
| 評価 | 概ね順調 | |
| 評価に対する分析 | <p>国民体育大会や全国大会の各種大会に出場する西予市民に対し、顕彰に努めた。近年、えひめ国体開催を見据えた動きの中で、全国大会に出場する選手が増えている。</p> <p>体育協会やスポーツ推進委員協議会との連携を図り、スポーツイベントの開催など市民の健康・体力の保持増進のほか、相互の親睦・交流を深めてスポーツに親しむ市民の増加を目指したい。</p> <p>老朽化したスポーツ施設が多くあり、適切な維持管理に努めるとともに、施設整備が課題である。</p> | |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

| | | | | |
|-----------|--|----------------|-------------|---------|
| 事務事業等 | ① | 生涯スポーツの普及と活動支援 | | |
| 成果指標 | 設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 市民体育祭開催事業 | <p>【事業内容】 広く市民にスポーツを普及し、健康増進と体力向上を図るとともに、市が一体となって市民相互の交流及び親睦を深めることを目的に市民体育祭を開催する。企画運営については、市スポーツ推進委員協議会に委託する。</p> <p>【実績】 実績は以下のとおりである。 雨天のため、屋内競技のみ開催 約250名参加（8月30日） バレーボール女子、レクバレー（一般・1部・2部・3部） ソフトテニス、バドミントン男女</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 大会参加チームは体育協会各支部が中心となって参加チームを選出している。参加チームの減少と出場選手が固定化する傾向にあるが、大会に向け練習を実施したりと盛り上がりを見せる支部もある。今後、参加チームの少ない種目を見直しするなど、広く市民が参加できる大会に転換する必要がある。</p> | | 230 | 文化体育振興課 |

(B表)

| 事務事業等 | ① | 生涯スポーツの普及と活動支援 | | |
|----------------|---|----------------|-------------|---------|
| 成果指標 | 設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 総合型スポーツクラブ補助事業 | <p>【事業内容】 総合型地域スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。</p> <p>【実績】 実績は以下のとおりである。 ○みかめスポーツクラブ 50千円 ○のむらスポーツクラブ 379千円 ○文化の里スポーツクラブ 50千円</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 各クラブの魅力ある事業を支援し、クラブ会員の増加を目指すことが今後の課題である。また、平成27年度ですべてのクラブがt o t oスポーツ振興くじ助成期間が終了したことから、健全で安定的なクラブ運営に向けて支援体制の構築が必要である。</p> | | 479 | 文化体育振興課 |

(B表)

| 事務事業等 | ① | 生涯スポーツの普及と活動支援 | | |
|------------|---|----------------|-------------|---------|
| 成果指標 | 設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| スポーツ教室開催事業 | <p>【事業内容】 親子を対象に脳を活性化させ、神経系の働きを高めるトレーニング方法である「コーディネーショントレーニング」を主としたスポーツ教室を開催するとともに、えひめ国体のPR活動を行う。</p> <p>【実績】 野村会場で3回実施した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 親子で楽しく身体を動かすことで、運動能力を引き出すとともに、運動神経の良さを向上させ総合的な体力及び身体能力の向上につながっている。あわせて指導者向けの講習会も行うことで、小学校教員、ジュニアスポーツ団体からの参加もあり、より効果的で幅の広い指導方法を学ぶことができている。 今後は、市内全域で実施できるように学校、ジュニアスポーツ団体等と連携して、開催日程や場所を調整したい。また、教室を利用して「みきゃん着ぐるみ」の活用や国体啓発グッズを配布することで、えひめ国体のPRに努めた。</p> | | 1,241 | 文化体育振興課 |



コーディネーショントレーニング

(B表)

| | | | | |
|------------------|--|----------------|-------------|---------|
| 事務事業等 | ① | 生涯スポーツの普及と活動支援 | | |
| 成果指標 | 設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 全国大会出場 選手支援事業 | <p>【事業内容】 県予選等を経て全国大会へ出場する選手へ15千円、国体・国際大会へ出場する選手等へ20千円（団体競技の場合は上限300千円）の報奨金を交付する。また、高校生以下の選手には、懸垂幕も作成、掲出し市民に周知する。</p> <p>【実績】 実績は以下のとおりである。 ○懸垂幕26本 報奨金160人</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 これまでの申請者の意見を聞き、懸垂幕の掲出場所については、本庁だけでなく申請者の了承を得て学校・公民館・支所など可能な場所に少しでも長く掲出できるような対応を取った。 インターハイ、国体等の出場選手が近年増加し、事前に情報がつかめない場合もあり、事後申請となる場合がある。また、選手数の予測が困難であり、懸垂幕の掲出場所の関係で連名となったりと課題もあるため、今後はこれら対応の解消に努めたい。</p> | | 2,926 | 文化体育振興課 |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|------------------|----------------------|---------|--|---------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 市民の週1回以上のスポーツ人口率 | | 24.8% | 50.0% | — | — |
| 達成状況 | A: 達成に向けて予定どおり進行している | 分析・評価 | <p>平成27年度は、まちづくり市民アンケートを実施していないため、市民の週1回以上のスポーツ人口率は確認できていない。平成26年度は29.4%実績があり、平成24年度と比較すると4.6ポイント上昇している。この状況から推測すると、平成26年度よりも実績値が上昇していると思われる。</p> <p>今後も総合型地域スポーツクラブ、体育協会やスポーツ推進委員協議会との連携により、スポーツに親しむ市民を増やしたい。</p> | | |

(A表)

| | | |
|----------|---|----------|
| 施策 | (2) | えひめ国体の推進 |
| 評価 | 概ね順調 | |
| 評価に対する分析 | <p>2017愛顔つなぐえひめ国体の西予市開催に向け、競技会場となる施設を国体開催基準に適合する施設として整備するため、平成26年度から着手し平成28年7月に開催するリハーサル大会までに完成する工程で工事を進めている。</p> <p>また、西予市開催競技のソフトボール（成年女子）・相撲の支援に努めることができた。</p> | |

☆施策を推進する主な取組の点検・評価
(B表)

| | | | | |
|--------------|--|----------------|-------------|------------------------|
| 事務事業等 | ① | 競技スポーツの振興と人材育成 | | |
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 愛媛国体相撲強化支援事業 | <p>【事業内容】 西予市開催競技の一つである相撲競技において、えひめ国体強化推進指定校となっている野村高校相撲部に対して補助金を交付し、遠征・合宿費用等に充当し強化支援を行う。</p> <p>【実績】 2015わかやま国体には野村高校相撲部から4人の選手が出場し、団体5位入賞・個人準優勝の好成績を収めた。 その他、第99回高等学校相撲金沢大会で団体5位・個人準優勝、第58回選抜高校相撲宇佐大会で団体3位、第67回全国高等学校相撲選抜大会で団体準優勝の成績を残した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 補助金を交付し支援を行ったことにより、着実に競技力の向上につながり、好成績を残すことができた。 今後も、有望な部員の確保及び競技力の向上が必要となることから、2017愛顔つなぐえひめ国体での優勝に向け、引き続き野村高校相撲部への支援に努めたい。</p> | | 400 | 文化体育振興課 (国民体育大会推進室) |

(B表)

| 事務事業等 | ① | 競技スポーツの振興と人材育成 | | |
|-----------------------|---|----------------|-------------|------------------------|
| 成果指標 | 設定なし | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 愛媛国体競技 役員等養成事 業 | <p>【事業内容】 西予市における開催競技（ソフトボール・相撲）の運営上必要不可欠である審判員・記録員を市民を対象として養成する必要があるため、市内の両競技団体へ資格取得・資質向上に係る講習会への参加及び資格更新に係る手続き等の業務を委託する。</p> <p>【実績】 ソフトボール競技（西予市ソフトボール協会へ委託）では、第1種審判員5人、第1種記録員2人の計7人が資格を取得した。また、相撲競技（野村相撲クラブへ委託）では4段取得者が8人となり、両競技合わせて15人が資格を取得した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 順調に資格取得者は増加しているが、資格を取得しただけで終わることなく、資質向上に向けた講習会への参加及び実践経験が必要となる。 今後も資格取得及び資質向上に向け、両競技団体への支援に努めたい。</p> | | 403 | 文化体育振興課 （国民体育大会推進室） |

(B表)

| 事務事業等 | ② | 関係施設の整備・充実 | | |
|----------------|--|------------|-------------|------------------------|
| 成果指標 | 設定あり（国体開催を通して、市民の利便性が向上する施設整備（整備済施設数）） | | | |
| 取組事業 | 事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向 | | 決算額 (千円) | 担当課 |
| 愛媛国体施設 整備事業 | <p>【事業内容】 2017愛顔つなぐえひめ国体の西予市開催競技会場となる施設を、国体開催基準に適合する施設として整備する。</p> <p>【実績】 平成26年度からソフトボール競技会場である宇和運動公園及び御旅公園（宇和球場）の整備に着手した。平成28年7月にはリハーサル大会が開催されることから、大会までの完成を目指し事業を進めた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 現在改修中の宇和運動公園及び御旅公園（宇和球場）については、大規模な大会が開催できる整備内容となっており、施設の利用者数及び利用機会の増大が期待できる。 また、相撲競技会場である乙亥会館については、平成28年度から施設の改修を実施する予定である。</p> | | 942, 151 | 文化体育振興課 （国民体育大会推進室） |

(C表)

| 成果指標 | | 基準値 (A) | 目標値 | 実績値 (B) | 増減 (B) - (A) |
|--------------------------------------|-----------------------|---------|---|---------|-----------------|
| | | 平成24年度 | 平成30年度 | 平成27年度 | |
| 国体開催を通して、市民の利便性が向上する施設整備 (整備済施設数) | | 0施設 | 3施設 | 0施設 | 増減なし |
| 達成状況 | B：達成に向けて概ね予定どおり進行している | 分析・評価 | 整備は概ね工程どおりに進捗しており、当初の計画どおり平成28年度に完成する予定である。 | | |

V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性

1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(1) 社会総がかりで取り組む教育の推進

【学識経験者の意見】

(生徒国際交流事業)

国際化が進む時代の中で、語学の習得や異文化、習慣に肌で触れることは子どもたちの成長には貴重な体験である。事業が継続的に実施できていることを評価できる。参加した生徒が報告会を行うなど参加していない生徒へ情報提供をすることが大切である。また、西予市国際交流協会や愛媛大学の留学生と交流するなど、国際交流にもつなげていただきたい。

《今後の取組の方向性》

(生徒国際交流事業)

参加した生徒の海外研修報告は各中学校の文化祭で行っており、今後も研修の成果が広く波及するよう続けていきたい。平成 28 年度はニュージーランドからの訪問があり、市内各中学校での交流授業や生徒宅でホームステイ受入れを行うなど、多くの生徒が国際交流事業に関わることができた。海外研修だけではなく受入事業による国際交流も継続して行っていきたい。

また、西予国際交流協会では、市内小学生を対象としたデイキャンプ事業を行っており、愛媛大学留学生と一緒にゲームを行いながら国際交流を図っている。今後は小学生だけでなく、中学生も対象とした事業について検討していきたい。

(2) 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進

【学識経験者の意見】

(語学指導外国青年招致事業)

A L T を配置した取組は小中学校で定着し、英語（ネイティブな発音）によるコミュニケーション能力と国際理解が進んでいると感じる。今後も充実した配置に取り組んでいただきたい。

(宇和学校給食センター運営事業、学校給食庶務事業)

子どもたちの健やかな成長のために栄養バランスのとれた学校給食の提供や健康管理ができていくことについて評価できる。今後は新学校給食センターの建設により、これまで以上に見える形で地産地消を推進するため関係団体と連携を図るとともに、郷土料理等を取り入れた献立を作成するなど、郷土への愛着が持てる食育活動に努められたい。

《今後の取組の方向性》

(語学指導外国青年招致事業)

小学校の再編が進み、学校数は減ったが、A L T の数は減らさず、学校への訪問回数を増やすなど、外国語活動の充実を図っている。これは、平成 32 年度完全実施の新学習指

導要領で小学校の英語が教科化されることも踏まえた取組である。

(宇和学校給食センター運営事業、学校給食庶務事業)

平成 29 年度の新学校給食センター稼動時には、2名の学校栄養士が配置されるため、地産地消等食育活動の推進にも積極的に取り組みたい。

(3) 特別支援教育、人権・同和教育の推進

【学識経験者の意見】

(小学校、中学校生活支援員設置事業)

児童生徒の保護者、学校ニーズにあった生活支援員の配置ができており評価できる。学習支援員の配置については、財政上の問題もあるが学校現場と教育委員会が連携して実施につなげていただきたい。

《今後の取組の方向性》

(小学校、中学校生活支援員設置事業)

平成 28 年 4 月に障害者差別解消法が施行され、合理的配慮を可能な限り提供することが求められるようになってきている。そこで、学校現場、保護者等のニーズに対応できるように配慮していきたい。学習支援員の配置については、学校ニーズを見極め慎重に行っていききたい。

(4) 安全・安心な学校づくりの推進

【学識経験者の意見】

(不審者情報メール発信事業)

近年、全国的に児童生徒に対する事件が発生している。市内において発生する事案等について速やかな情報発信とともに、学校と地域が連携した取組ができるよう努められたい。

(学校安全体制整備推進事業)

児童生徒の登下校時に交通事故等も発生しており、各関係機関と連携を取りながら、安全確保に努められたい。

《今後の取組の方向性》

(不審者情報メール発信事業)

児童生徒の安全を確保するために見守り隊、青色パトロール等、地域ぐるみで取り組んでいただいている。また、児童生徒の安全を脅かす問題が発生したときは、不審者メール配信サービスを有効に活用している。今後もこのサービスを継続していきたい。

(学校安全体制整備推進事業)

平成 27 年度から大洲河川国道事務所、西予土木事務所、西予警察署、西予市建設課の協力を得て、西予市通学安全対策プログラムを実施している。通学路の安全確保には、とても有効な取組なので、今後も継続していきたい。

(7) よりよい教育環境づくりの実現

【学識経験者の意見】

(小学校、中学校施設修繕事業)

小学校再編による大規模な学校施設整備が完了し、教育環境を確保できたことを評価できる。今後も、児童生徒が安全・安心に過ごせる学校施設となるよう施設修繕、整備に努められたい。

(学校再編推進事業)

城川地域の統合が完了したことを評価できる。今後は、宇和地域で理解を深めていただくため保護者、地域住民、PTA等に引き続き十分な説明をして進められたい。

(スクールバス維持管理事業)

遠距離通学となる児童生徒の通学に供するため、また、校外学習や各種教育活動等、よりよい教育環境の整備を目的に 19 台のスクールバスが運行されており、有効活用及び安全に運行できていることを評価できる。今後も安全運行に取り組んでいただきたい。

(小学校、中学校情報教育振興事業)

I C T環境整備について、市内小中学校に校務用パソコンの導入や普通教室にタブレット、電子黒板等を整備され充実した教育環境を整えられていることを評価できる。今後も、学校、教職員へのサポート体制を継続していただきたい。

《今後の取組の方向性》

(小学校、中学校施設修繕事業)

宇和地域の小学校や市内中学校施設では、老朽化が進んでいる施設も多く、年 1 回の施設点検を実施し、危険個所の有無及び劣化状況の確認を行っている。

学校再編に伴い整備した学校施設も含め、施設改修の年次計画を策定し、安全・安心な学校施設となるよう計画的な施設修繕、整備に努めていきたい。

(学校再編推進事業、スクールバス維持管理事業)

平成 28 年度において、宇和地域を除く市内各地域の小学校再編が完了し、また平成 29 年 4 月からは西予市立明間小学校が西予市立皆田小学校へ統合となることで、市内における複式学級は解消（地理的状况から再編対象でない惣川小学校と大野ヶ原小学校を除く。）され、教育環境の整備が図れることとなる。

宇和地域においても、今後は児童数の減少傾向が続くと予想されることから、よりよい教育環境を整えていくため、保護者（未就学児童含む）だけでなく地域住民への説明会を開催し、西予市小学校再編計画への理解を深めていきたい。

児童の安全・安心な通学に供することはもちろん、子どもたちの様々な活動等に有効活用できるようスクールバスの管理及び運営に取り組んでいきたい。

(小学校、中学校情報教育振興事業)

国の教育の I T 化に向けた環境整備 4 ヶ年計画(平成 26 年度～平成 29 年度)に基づき、I C T環境整備を進めているところであり、無線 L A Nで稼動するタブレット等も順次導入していく予定である。また、タブレット等の導入で、情報教育アシスタントの重要性が増してくるので、今後も継続して配置していきたい。

2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(2) 公民館活動の推進

【学識経験者の意見】

(公民館各種イベント、講座事業)

公民館は各地区における社会教育・生涯学習の活動拠点であり、それぞれで特色ある取組が実施されている。公民館に求められる役割は大きく変化しており、地域によっては社会教育の域を超えて、地域づくりに積極的に関与することも求められるようになった。今後も地域ニーズにあった取組を推進するとともに、地域コミュニティ形成への積極的な参画に努められたい。

(公民館耐震化事業)

公民館は耐震化できていない施設も多くあるため、住民が安全・安心に施設を利用できるように、整備計画を立て緊急性の高いものから整備に取り組んでいただきたい。

《今後の取組の方向性》

(公民館各種イベント、講座事業)

公民館は地域住民の活動拠点となっており、地域の実情に即した事業を計画的に取り組んでいる。今後も、住民一人ひとりが生活や地域課題の解決に参画できるよう積極的に推進していきたい。

(公民館耐震化事業)

公民館は社会教育推進の施設という位置付けであると同時に、地域住民にとって一番身近な行政機関となっている。このため、住民が安全・安心に施設を利用できるよう耐震化については、「西予市公共施設耐震化計画」に基づき、耐震診断・補強設計及び耐震化工事を計画的に進めていきたい。

(3) 心豊かでたくましい青少年の育成

【学識経験者の意見】

(青少年補導センター運営事業)

青少年関係機関、団体等の中で、いじめや非行状況などの問題解決に向け情報交換や協議を行うことで、いじめや非行の未然防止につながっている。また、市青少年育成協議会が中心となり、市民総ぐるみで「あいさつ運動」を展開している取組を評価できる。

青少年を取り巻く環境は年々変化しており、特にインターネットや携帯電話の利用等について指導に取り組んでいただきたい。

《今後の取組の方向性》

(青少年補導センター運営事業)

青少年育成協議会では、引き続き「あいさつ運動」を推進していく。また、幅広い機関が所属していることを生かし、“地域全体で”青少年を見守り、育てるという意識をより一層醸成していきたい。

青少年補導センターでも、近年のインターネットや携帯電話利用に関する問題を懸念し

ており、学校、PTA、警察等と連携し、最新情報の収集や研修等に努めていきたい。

(4) 人権・同和教育の推進

【学識経験者の意見】

(人権のつどい事業)

人権意識を高め、人権問題への関心を深めるため、市内3か所(宇和、野村、城川地域)で「西予市人権のつどい」を開催している。対象者は、行政、団体、企業関係者等を中心に全住民とし、講演会を開催している。宇和会場のアンケート結果、「人権に対する思いの深まり」では、「深まった」が63.1%、「今後行うべきか」では、「行うべき」が90.3%であり、人権意識を高める効果的な取組となっていることを評価できる。しかし、現在の開催は旧町時代の事業を継続しているにすぎず、他の2地域はどうなのかという問題もある。このため事業を一本化するなど、新しい切り口でこの事業の見直しに努められたい。

(地区別人権教育懇談会事業)

人権学習会の開催を何かの行事と重ねるなど、工夫して参加者の増加につながるよう努められたい。

《今後の取組の方向性》

(人権のつどい事業)

今後の取組について、明浜、三瓶地域でも開催できるように協議していく必要があるが、一本化した事業としての開催か、各地域において別々の開催か協議を進めていきたい。

(地区別人権教育懇談会事業)

開催にあたっては、指導者の育成に努めるとともに資料・教材におけるポイントの整理及び啓発の工夫を行い、より多くの住民が参加できるような学習会の開催に努めていきたい。

(5) 図書館活動の充実

【学識経験者の意見】

(図書館電算システム管理事業)

平成26年度の図書貸出し人数は約38,800人、27年度は約37,900人で900人減少している。図書貸出し人数は減少しているが来館者は増えている状況である。これは本を借りる以外の目的で図書館を訪れる人が増えているようなので、利用者からの要求に対応できるように業務の改善に努められたい。

《今後の取組の方向性》

(図書館電算システム管理事業)

図書館電算システムの導入により所蔵図書の検索が容易になったため、利用者のインターネット予約が増えている。

また、レファレンスサービス^{注)}も、窓口の端末での検索が可能になったことで気軽に

蔵書の有無を問われるようになった。今後もシステムの利便性を利用者に説明し、図書館利用者数の増加に向けシステムの利用促進に努めていきたい。

注) 図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務。

3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(1) 文化財の保護と活用

【学識経験者の意見】

(文化財保護推進事業)

市指定文化財の調査や修理について、専門家の協力を得ながら引き続き努められたい。

また、所蔵する文化財の展示スペースがないため、空いている公共施設を利用するなど確保に努められたい。

茶堂は市の貴重な文化財であり茅葺の形で残していく必要がある。しかし、県内に茅葺職人が少ないため、県外の職人に葺き替えを依頼している現状がある。このため、茶堂文化を残す考えで、市の将来のビジョンを描いて人材育成を通して保存活動に取り組んでいただきたい。

(俵津文楽育成事業、渡江盆踊り保存事業、朝日文楽保存伝承活動事業)

県指定、市指定無形文化財の継承に支援をされており評価できる。今後も文化財の継承のため、引き続き支援に努められたい。

《今後の取組の方向性》

(文化財保護推進事業)

平成26年度から実施している市指定文化財の見直しを図るとともに補助制度を見直し、今後の文化財保護の基盤を確立させていきたい。

また、「古代ロマンの里構想」にも掲げている展示施設については、使用されなくなった公共施設の有効活用を考慮し、方向性を見いだしたい。

茶堂の修理、維持管理等に係る経費の負担軽減を通じて、茅葺茶堂をはじめとする建造物を保護するために、西予市茶堂整備事業費補助金交付要綱の見直しを行った。

茅葺職人の育成については、全国茅葺きネットワークや茅葺屋根の研究者あるいは中四国在住の茅葺職人と連携し、茅などの資材の確保、茅葺保存を行うことで、新たな地域産業等の検討を地方創生に向けた課題としたい。

(俵津文楽育成事業、渡江盆踊り保存事業、朝日文楽保存伝承活動事業)

指定無形文化財の継承事業は、学社連携による事業の取組を推進し、後継者の育成・支援に努めたい。

(2) 文化の振興

【学識経験者の意見】

(塔和子顕彰事業)

夏休み期間中に開催した大島青松園訪問事業に小学生 3 人、中学生 14 人を含む市民 47 人が参加し、入所者の体験談や現在も入所中である西予市出身者と交流ができたことについて、新たな取組として評価できる。次年度以降も継続して取り組んでいただきたい。

(ふるさと芸能祭補助事業)

平成 26 年度の課題を解消するため新たに体験教室を実施し、参加者が増えたことなど文化振興につながっていると感じる。今後も来場者を増やす取組や文化団体との交流に努めていただきたい。

《今後の取組の方向性》

(塔和子顕彰事業)

西予市出身の詩人 塔和子さんを偲び、大島青松園において力強く生き抜いた人々から学ぶことにより、詩やその生き方を次の世代へ継承するとともに、人権・同和教育推進の一環とした事業として引き続き取り組んでいきたい。

(ふるさと芸能祭補助事業)

実行委員会形式を導入したことにより、委員会の主体的運営や体験事業（フォークダンス・フラダンス等）を実施したことで、観るだけの芸術文化活動から体験活動につながった。今後、芸能発表における地域間交流など、内容を充実させる取組を検討していきたい。

(3) 文化活動の環境と基盤の整備

【学識経験者の意見】

(宇和文化会館管理運営事業・三瓶文化会館管理運営事業)

市内の文化施設の老朽化が進むなか、改修を順次実施されており、利用者の利便性向上に努めていることを評価できる。今後も住民に安全・安心に利用してもらえるよう計画的に優先順位をつけるなどして改修に努められたい。

《今後の取組の方向性》

(宇和文化会館管理運営事業・三瓶文化会館管理運営事業)

市内の文化施設の改修等においては、利用者の利便性を考慮し、更新計画のもと緊急性の高いものから実施するとともに、必要に応じて施設の整理統合を図っていきたい。また、文化施設の運営に必要な人材を確保し体制を整備していきたい。

(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進

【学識経験者の意見】

(古代ロマンの里推進事業)

歴史の道調査を共に行っている八幡浜市と共催で「駅からウォーク」を開催するなど、

「古代ロマンの里整備活用基本計画」に基づき構想を推進されており評価できる。引き続き西予市の特色ある文化施策として取り組んでいただきたい。

(文化的景観保護推進事業)

(仮称)「狩浜の段々畑と宇和海の文化的景観」を、国の重要文化的景観の選定に向け、西予市文化的景観調査委員会を設置し、調査実施等の取組を評価できる。

《今後の取組の方向性》

(古代ロマンの里推進事業)

古代ロマン里構想、町並み保存など、各計画に基づき取り組むとともに関係機関と連携し、今後も特色のある文化施策としたい。また、ジオパーク関連事業と連携し、文化財やジオサイトの調査研究を大学や博物館等とも進め、学術的知見に基づく新たな成果を継起的に獲得し、地域の魅力の向上に努めるとともに地域に愛着が持てるよう活用していきたい。

(文化的景観保護推進事業)

(仮称)「狩浜の段々畑と宇和海の文化的景観」国選定に向け、西予市文化的景観調査委員会が主体となり、景観に関する学術調査、調査報告書の作成、保存計画書・景観計画書の作成など、スケジュールに基づき引き続き推進していきたい。

4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

(1) スポーツの振興

【学識経験者の意見】

(総合型スポーツクラブ補助事業)

総合型地域スポーツクラブ活動の支援をされており評価できる。しかし、地域の事情により設立できないところもある。今後も健全で安定的なクラブ運営に向けて支援体制に努められたい。また、クラブ活動を充実させるために、体育協会やスポーツ推進委員協議会との連携を図り、スポーツに親しむ市民の増加に努められたい。

(全国大会出場選手支援事業)

県内大会予選を経て、インターハイ・国体等の出場選手が近年増加しており、その選手へ支援されている取組を評価できる。引き続き支援していただきたい。

(スポーツ教室開催事業)

脳を活性化させ、神経系の働きを高めるトレーニング方法である「コーディネーショントレーニング」を学ぶ教室を野村会場で3回開催され、親子やジュニア指導者等が体験しながら学ぶ取組を評価できる。引き続きスポーツ教室を開催し、競技スポーツの底辺拡大とえひめ国体のPR活動に努められたい。

《今後の取組の方向性》

(総合型スポーツクラブ補助事業)

総合型地域スポーツクラブの設立及び支援については、体育協会及びスポーツ推進員と

連携したなかで、地域の特色のある活動を推進していきたい。また、スポーツクラブが独自に行う事業に対する支援を検討していきたい。

(全国大会出場選手支援事業)

2017 愛顔つなぐえひめ国体の開催が好影響に繋がり、インターハイ・国体等への出場選手も増加傾向となっている。今後も、西予市代表として活躍する選手に対し支援・顕彰することで、地域社会の活力向上と競技スポーツの振興に努めていきたい。

(スポーツ教室開催事業)

教育機関と連携し、開催時期・場所を調整し参加機会の場を提供するとともに、国体のPRに努めたい。

(2) えひめ国体の推進

【学識経験者の意見】

(愛媛国体相撲強化支援事業)

2015 わかやま国体には野村高校相撲部から4人の選手が出場し、団体5位入賞・個人準優勝の好成績を収めたことは、これまでの強化支援に努めた結果と評価できる。2017 えひめ国体でも好成績につながるよう引き続き支援に努められたい。

(愛媛国体施設整備事業・愛媛国体競技役員等養成事業)

2017 えひめ国体まで1年を切り施設の整備や競技役員育成など、引き続き支援に努められたい。えひめ国体は西予市挙げての取組となるため、住民と連携し万全の体制で望んでいただきたい。

《今後の取組の方向性》

(愛媛国体相撲強化支援事業)

愛媛県立野村高等学校相撲部が強化推進指定校となっていることから、補助金を増額(国体当年度まで限定)し、引き続き支援していきたい。

(愛媛国体施設整備事業・愛媛国体競技役員等養成事業)

市内開催種目2競技の競技役員も養成できたことから、競技役員として各団体に国・県レベルの大会への参加要請を依頼するなど、技術レベルの向上に努めたい。

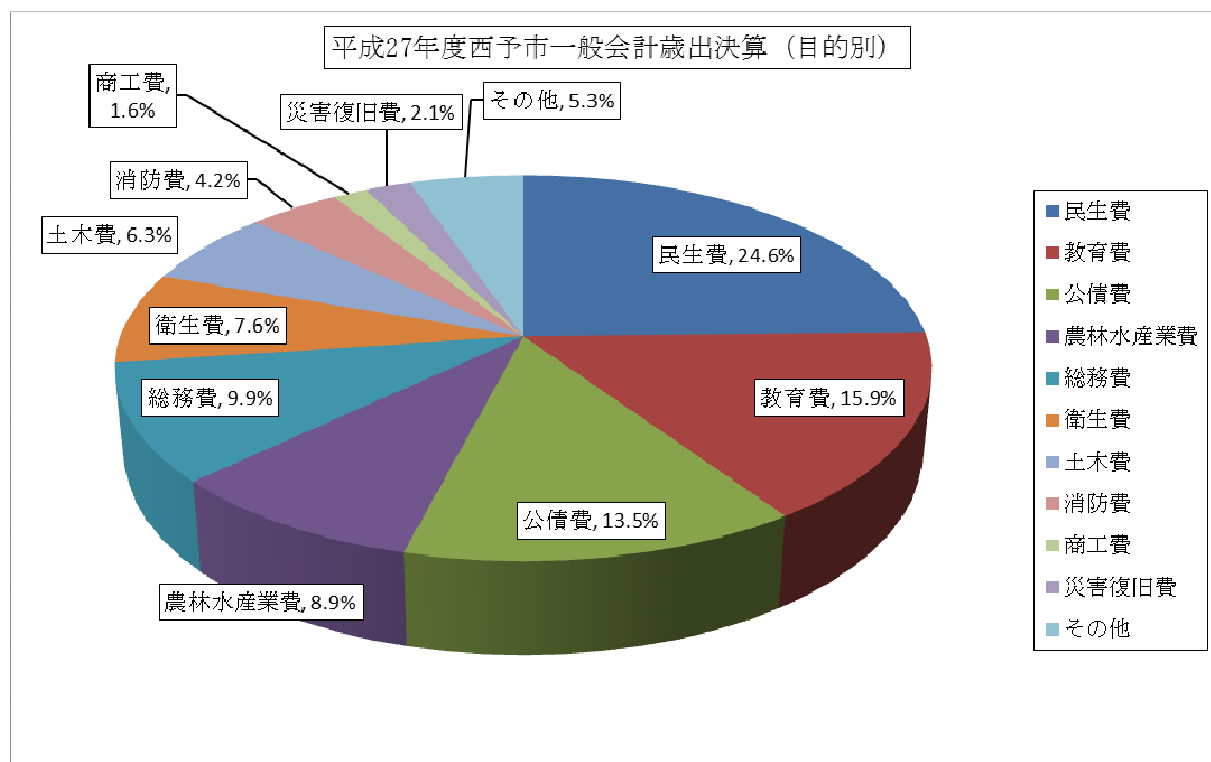
また、国体開催競技会場となる施設整備が平成28年7月のリハーサル大会までに完了した。リハーサル大会の経験(競技運営等)を活かし、えひめ国体西予市開催に向け、市民総参加「チームせいよ」として取り組めるよう引き続き推進していきたい。

なお、相撲競技開催に係る民泊受入地区(47チームの受け入れ)も決定したことから、全国からお越しいただく皆様方を「おもてなしの心」でお迎えできるよう、気運の醸成に努めていきたい。

VI 参考資料

平成 27 年度西予市一般会計歳出決算における教育予算の実施状況

(図 - 1)



【平成 27 年度歳出決算の目的別集計】 (表 - 1)

単位：千円

| | | |
|------------|------------------|--------------|
| 民生費 | 6,774,624 | 24.6% |
| 教育費 | 4,369,777 | 15.9% |
| 公債費 | 3,722,036 | 13.5% |
| 総務費 | 2,715,905 | 9.9% |
| 農林水産業費 | 2,459,659 | 9.0% |
| 衛生費 | 2,097,754 | 7.6% |
| 土木費 | 1,745,169 | 6.3% |
| 消防費 | 1,160,592 | 4.2% |
| 商工費 | 444,274 | 1.6% |
| 災害復旧費 | 579,914 | 2.1% |
| その他 | 1,450,181 | 5.3% |
| 合計 | 27,519,885 | 100.0% |

| | | |
|-------|-----------|------|
| その他内訳 | 1,450,181 | 5.3% |
| 諸支出金 | 1,215,412 | 4.4% |
| 労働費 | 26,376 | 0.1% |
| 議会費 | 208,393 | 0.8% |
| 予備費 | 0 | 0.0% |

平成 27 年度西予市一般会計決算額は、27,519,885 千円で、前年度の 28,243,620 千円と比較し、723,735 千円 (2.6%) の減となっています。その主な要因は、衛生費で汚泥再生処理施設整備事業費の減、農林水産業費で森林そ生緊急対策事業費の減、消防費で防災行政無線デジタル整備事業費の減、教育費で明浜地区小学校統合校舎建設事業費の減によるものです。

【歳出の目的別決算比較】（表－２）

単位：千円

| 科目 | 年度 | 平成 27 年度 | | 平成 26 年度 | | 増減額 C = A - B | 増減率 C / B |
|---------------|----|------------------|--------------|------------------|--------------|---------------------|--------------|
| | | 決算額 (A) | 構成比 | 決算額 (B) | 構成比 | | |
| 1 議会費 | | 208,393 | 0.8% | 207,339 | 0.7% | 1,054 | 0.5% |
| 2 総務費 | | 2,715,905 | 9.9% | 2,505,068 | 8.9% | 210,837 | 8.4% |
| 3 民生費 | | 6,774,624 | 24.6% | 6,694,263 | 23.7% | 80,361 | 1.2% |
| 4 衛生費 | | 2,097,754 | 7.6% | 2,347,649 | 8.3% | △249,895 | △10.6% |
| 5 労働費 | | 26,376 | 0.1% | 26,254 | 0.1% | 122 | 0.5% |
| 6 農林水産業費 | | 2,459,659 | 9.0% | 3,007,839 | 10.6% | △548,180 | △18.2% |
| 7 商工費 | | 444,274 | 1.6% | 471,194 | 1.7% | △26,920 | △5.7% |
| 8 土木費 | | 1,745,169 | 6.3% | 1,707,836 | 6.0% | 37,333 | 2.2% |
| 9 消防費 | | 1,160,592 | 4.2% | 1,565,389 | 5.5% | △404,797 | △25.9% |
| 10 教育費 | | 4,369,777 | 15.9% | 4,557,149 | 16.1% | △187,372 | △4.1% |
| 11 災害復旧費 | | 579,914 | 2.1% | 367,519 | 1.3% | 212,395 | 57.8% |
| 12 公債費 | | 3,722,036 | 13.5% | 3,772,377 | 13.4% | △50,341 | △1.3% |
| 13 諸支出金 | | 1,215,412 | 4.4% | 1,013,744 | 3.6% | 201,668 | 19.9% |
| 計 | | 27,519,885 | 100.0% | 28,243,620 | 100.0% | △723,735 | △2.6% |

目的別決算額では、民生費が 6,774,624 千円（24.6%）、公債費 3,722,036 千円（13.5%）、教育費が 4,369,777 千円（15.9%）、農林水産業費が 2,459,659 千円（9.0%）で、これらの合計が歳出の 6 割以上を占めています。（図－1、表－1）

次に、平成 27 年度西予市一般会計歳出決算における教育費は、表－1、表－2 のとおり 4,369,777 千円（15.9%）で平成 26 年度 4,557,149 千円（16.1%）と比較し、187,372 千円（4.1%）の減となっています。

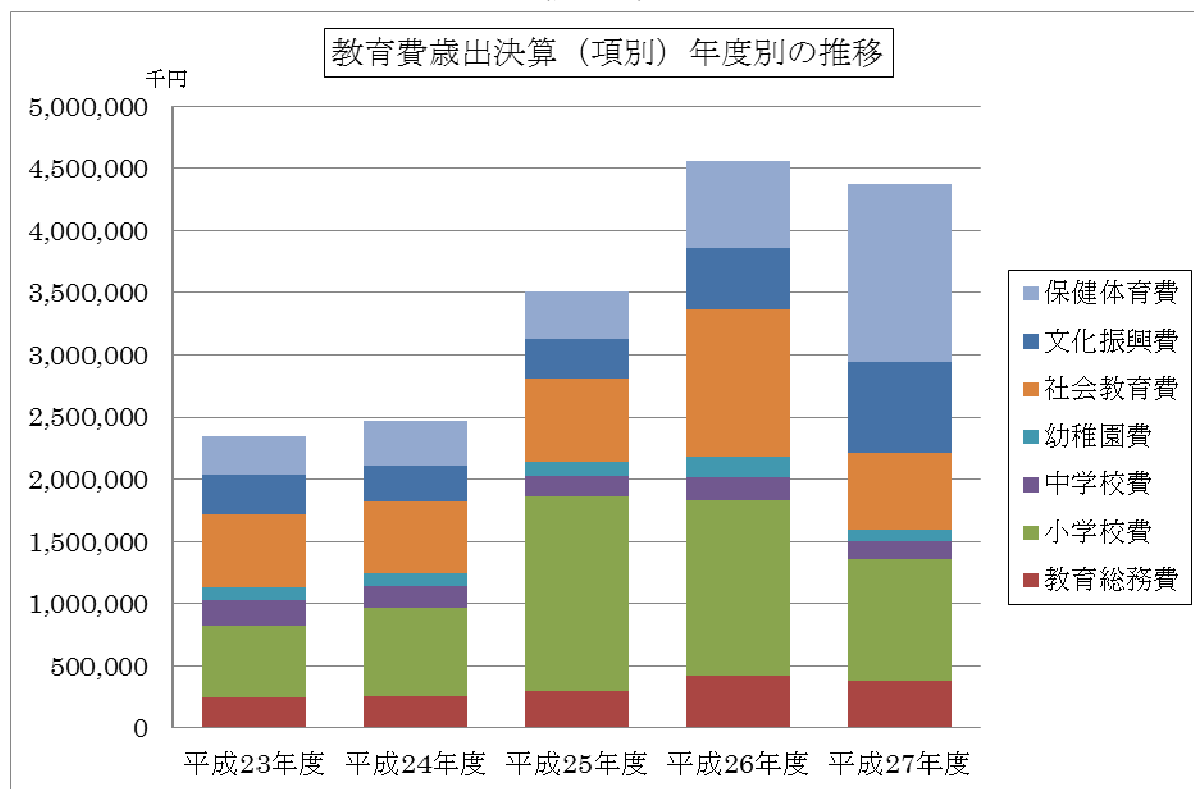
主な要因は、小学校費で学校建設等の大型事業が完了したことによる事業費の減です。

【教育費項別年度別歳出決算額】（表－３）

単位：千円

| | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平成27年度 | |
|---------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|--------|
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 |
| 1 教育総務費 | 245,881 | 10.5% | 252,277 | 10.2% | 292,394 | 8.3% | 422,989 | 9.3% | 379,569 | 8.7% |
| 2 小学校費 | 572,724 | 24.4% | 716,265 | 29.0% | 1,568,299 | 44.6% | 1,412,627 | 31.0% | 975,458 | 22.3% |
| 3 中学校費 | 206,143 | 8.8% | 168,265 | 6.8% | 160,959 | 4.6% | 180,986 | 4.0% | 145,949 | 3.3% |
| 4 幼稚園費 | 105,216 | 4.5% | 110,545 | 4.5% | 121,583 | 3.5% | 167,971 | 3.7% | 94,625 | 2.2% |
| 5 社会教育費 | 584,730 | 24.9% | 568,453 | 23.0% | 665,518 | 18.9% | 1,179,428 | 25.9% | 615,491 | 14.1% |
| 6 文化振興費 | 325,226 | 13.8% | 295,557 | 12.0% | 319,748 | 9.1% | 494,690 | 10.9% | 731,523 | 16.7% |
| 7 保健体育費 | 309,568 | 13.2% | 355,546 | 14.4% | 384,381 | 10.9% | 698,458 | 15.3% | 1,427,162 | 32.7% |
| 計 | 2,349,488 | 100% | 2,466,908 | 100% | 3,512,882 | 100% | 4,557,149 | 100% | 4,369,777 | 100.0% |

(図-2)



教育費における項別決算額は表-3、図-2のとおり、保健体育費が1,427,162千円で、前年度698,458千円と比較し、728,704千円（104.3%）の大幅な増となっています。この主な要因は、愛媛国体施設整備事業（872,822千円）としてソフトボールの国体開催基準に適合する施設の整備事業費の増によるものです。

項別の主な事業内容は、1（項）教育総務費では学校再編推進事業57,884千円、生徒国際交流事業11,791千円、語学指導外国青年招致事業22,025千円、2（項）小学校費では明浜地区小学校統合校舎建設事業97,410千円、野村小学校施設整備事業86,242千円、3（項）中学校費では、野村中寄宿舎維持管理事業9,416千円、中学校各種大会出場補助事業9,158千円、4（項）幼稚園費では、公立幼稚園維持管理事業1,068千円、5（項）社会教育費では、図書館電算システム管理事業1,511千円、市青少年補導員活動事業1,332千円、6（項）文化振興費では、朝日文楽会館管理運営事業4,240千円、全国かまぼこ板の絵展覧会事業14,240千円、文化的景観保護推進事業5,236千円、7（項）保健体育費では、全国大会出場選手支援事業2,926千円、宇和学校給食センター建設事業65,409千円などです。

また、平成28年度への教育費繰越事業費（305,277千円）の主な内訳は、小学校費の小学校施設修繕事業25,179千円、文化振興費の町並み建造物修理・修景事業18,905千円、保健体育費の愛媛国体施設整備事業（宇和球場）62,390千円、野村学校給食センター建設事業97,112千円などです。



西予市教育委員会

〒797-8501 西予市宇和町卯之町三丁目 434 番地 1

Tel : 0894-62-6430 (教育総務課) Fax : 0894-62-6584

E-mail : kyouikusoumu@city.seiyo.ehime.jp